

令和5年度 第3回 紀美野町立中学校統合準備委員会

令和6年2月16日(金)
午後 7:00～ 2B会議室

1 開会

2 会長あいさつ

3 町長あいさつ

4 議事

(1) 各部会の報告について

(2) 今後のスケジュールについて

(3) その他

5 閉会

教育長あいさつ

紀美野町立中学校統合準備委員会委員名簿 (令和5年度)

	氏 名	所属等
1	会長 松本 守信	美里中学校区学校運営協議会長
2	副会長 山下 育作	野上中学校区学校運営協議会長
3	清水 幹雄	野上中学校育友会長
4	中西 敏揮	美里中学校育友会長
5	林 公彦	野上小学校育友会長
6	八木 優	小川小学校育友会長
7	芝滝 順子	下神野小学校育友会長
8	松尾 誠也	きみのこども園育友会長
9	田中 宏明	こうのこども園育友会長
10	若林 豊	区長会 会長
11	横山 健司	区長会 副会長
12	西原 宏洋	区長会 副会長
13	小椋 孝也	野上中学校区学校運営協議会副会長
14	中家 覚	美里中学校区学校運営協議会副会長
15	中屋 多加志	元野上中学校長・美里中学校長
16	小坂 佳子	元美里中学校教頭
17	瀧村 敏樹	元野上中学校・美里中学校長
18	松尾 詩朗	元野上小学校長
19	尾崎 弘和	野上中学校長
20	喜多 智英	美里中学校長
21	北川 勝則	野上小学校長
22	藪根 一仁	小川小学校長
23	広瀬 真三子	下神野小学校長

(1) 各部会の報告について

令和5年度 紀美野町立中学校統合準備委員会 第1部会 協議記録

日時:令和5年11月8日(水)

場所:野上中学校図書室

1. 校歌について (別紙参照)

作詞 岸田正幸氏

作曲 恩地孝幸氏

2. 校章 (別紙参照)

作者 井澤正憲氏

3. 校訓 (別紙参照)

紀美野町立紀美野中学校 校歌

作詞 岸田 正幸

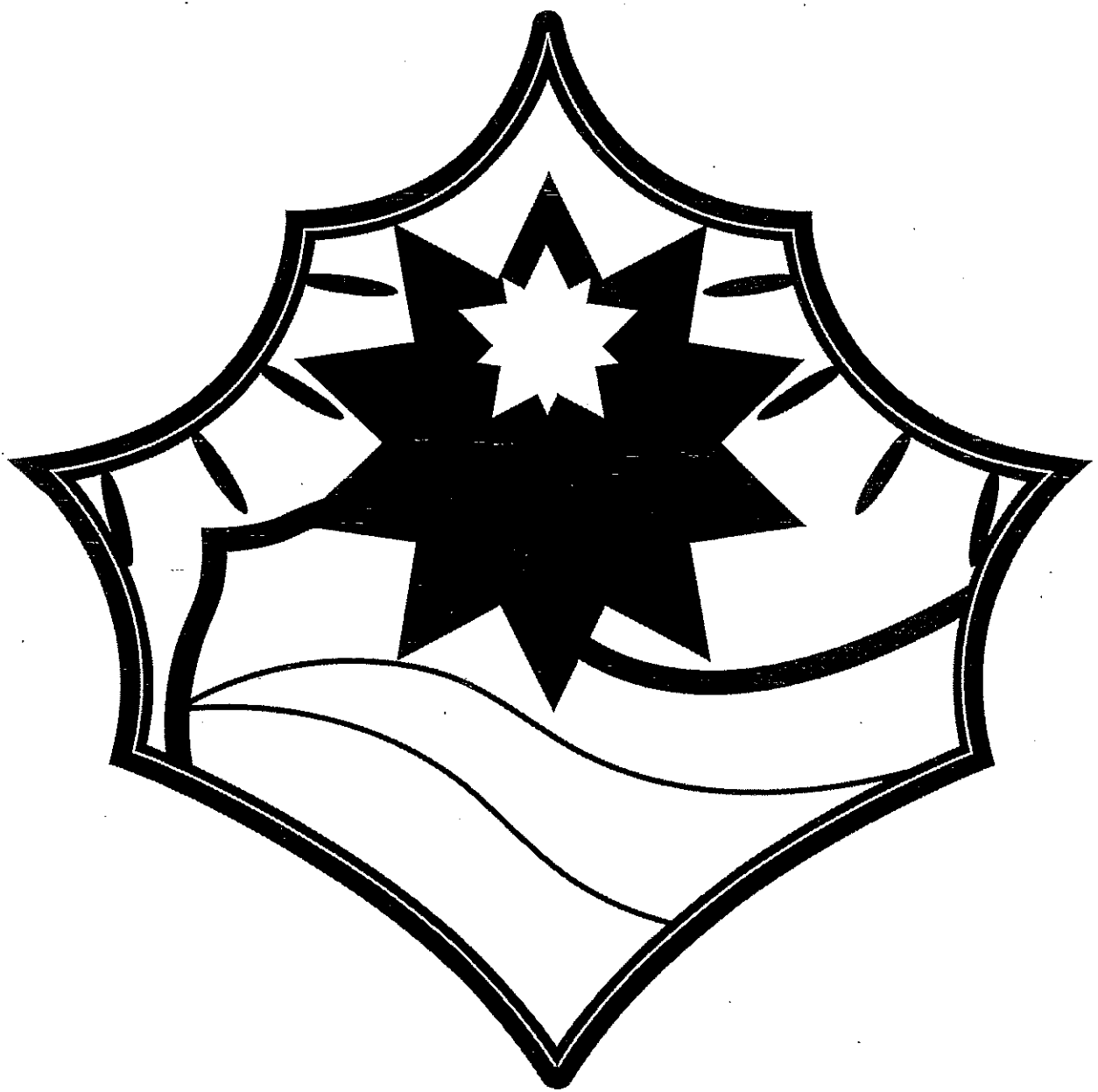
作曲 恩地 孝幸

生石の峰に雲が湧く
ここはきみのふるさと
この学び舎で我が身を鍛え 生き抜く力
信じて進もう 昨日とは違う自分がそこにいる
声響き合う きみの 紀美野中学校

み佐々が原に風そよぐ
ここはきみのふるさと
この学び舎で心を磨き 輝く命
ともに歩もう 助け合い励まし合える友がいる
笑顔あふれる きみの 紀美野中学校

紀美野の森に星が降る
ここはきみのふるさと
この学び舎で^{まこと}真理を求め きらめく瞳
夢を語ろう 手の中に希望の未来はきっとある
^{とわ}永遠に栄えよ きみの 紀美野中学校





紀美野中学校 校訓(案)

愛 和 真 (あい わ しん)

校訓に関する部会案のコンセプトは以下のとおりです。

- ・全校生徒・教職員が覚えられること。漢字1文字×3は覚えられるし記憶に残る。
- ・インパクトのあるフレーズであり、それぞれの言葉の意味が想像できるもの。
- ・中学生の時期だけでなく、一生涯を通して営みの道しるべとしての校訓。

<説明>

愛 和 真の3文字を校訓とすることは、生徒の成長を促す支えとなるとともに、学校や組織にとって素晴らしい価値観を表現するものであると考える。更には、卒業してからも心の礎(しおり)として持ち続けてほしいという願いも込めている。

以下の文章は、それぞれの言葉に対する根拠となる説明です。

愛(あい):世界の中で

愛するという行動は、人のみに限らず全ての物や事象について慈しむことができる人間の持つ特有の能力です。これは将来を見据え、グローバル社会や多様性、共生社会を考える上で重要です。また、人間関係では相互の思いやりと尊重を育むものともなります。

紀美野中学校では、愛を根本とし、生徒同士や教員との絆を大切に、助け合い、共感し、共鳴し合うことで、共に成長し学び合う環境を構築していきます。愛は学びと成就の土壌の場でもあり、それぞれが認められ支えられることで、真に意味のある学びが生まれると考えています。そして、学校、地域、全国、世界へ、また、すべての生きとし生けるもの、そして万物にわたり愛する心を持って人生を営むことにより、全世界の平和と人々の幸福へと繋がられていくことを期待します。

和(わ):集団の中で

和は、野上中学校と美里中学校の両校の校訓(野上中学校:和して同ぜず 美里中学校:和「和を貴しと為す」)にある文字です。この1文字を引用しています。共通する尊重すべき文字を校訓3文字の中央に設定しました。この文字、和は協力と協調の精神を象徴しています。生徒同士が友情を育み、仲間意識を高めることを基盤として、お互いの意見を尊重し合い、共同しながら共通の目標に向かって進むことが求めています。

和の中では異なる視点からの学びが統合され、より豊かな環境が築かれます。それと同時に、個々が堅実な考えや意見を持つことができ、お互いの考えや意見を共有することで、新たな考え方が導かれ、主体性を持った個人の更なる成長へと繋がっていきます。

学校全体が和を築くことで、個々の力が最大限に発揮され、学びの効果が向上されるとともに、自身の存在価値を認識し自己確立を促されることでしょう。和の心をもつことで、将来、社会での活躍や貢献が期待されます。

真(しん):個人として

真は誠実さや正直さを指し、自己を知り、他者に対しても真摯な態度を持つことを促します。また、真理を追求する知性や心をもって、自らを成長させようとする営みを意味するものです。

紀美野中学校では真の価値を重んじ、学びの中で自分と向き合い、適切な判断や行動ができるような環境を育みます。将来に渡り真理を求めることで、自分の強みや弱み、課題を理解し、誠実な態度で学び、人間としての成長を果たすことを期待します。

これらの言葉を校訓とすることで、愛と和の中で真理を追究することにより、豊かな人間性を備え、社会に貢献できる人材となり、生涯を通して共同しながら学び続けることができる人になることを期待します。

令和5年度 紀美野町立中学校統合準備委員会 第2部会 協議記録

【 制服・体操服等について 】

開催日：第1回5月19日、第2回6月29日、第3回9月4日、第4回2月5日

場所：紀美野町役場本庁2B 会議室

○制服

ブレザー上着、スラックス、スカート、キュロット

B 案を部会案とする(上着：紺、下：グレーにエンジ色等のチェック模様)

その他制服に付随するもの

(学校での検討内容：上着の中は白のカッターシャツとしたい)

○体操服

A 案を部会案とする(紺ベースにブルーと白の差し色)

(夏の T シャツに関して、現在のまま白とするか、透けにくい紺や黒なども考慮に入れるか学校より提案。引き続き学校において検討する)

○その他

(上履きに関して、新しいタイプを採用する可能性について学校から提案、引き続き学校において検討する)

制服・体操服に関するアンケート 集計結果

対象者	案	制服		体操服		回答率
		回答数	率	回答数	率	
児童 生徒 316人	A	67	24.1%	132	47.5%	
	B	119	42.8%	105	37.8%	
	C	92	33.1%	41	14.7%	
小計		278		278		88.0%
保護者 355家庭	A	26	16.1%	59	36.6%	
	B	84	52.2%	78	48.4%	
	C	51	31.7%	24	14.9%	
小計		161		161		45.4%
全体 671票	A	93	21.2%	191	43.5%	
	B	203	46.2%	183	41.7%	
	C	143	32.6%	65	14.8%	
合計		439		439		65.4%

制服・体操服展示期間 令和5年10月20日～11月30日

アンケート 調査期間 令和5年10月20日～12月12日

ブレザー制服 B 案

○上着

紺色（C案と同じ）

参考価格 21,500 円程度

○スラックス、スカート、キュロット

グレーベースにエンジ色等のチェック模様

スラックス 参考価格 13,500 円程度

スカート 参考価格 14,500 円程度



スラックス

スカート



※キュロットのサンプルは、ありません。価格はスカートより少し高くなる見込みです。

※写真により微妙に色合いが異なりますが、上着の紺色は同じ色です。また、スラックス、スカート、キュロットのチェック柄も同じ色です。

※全て家庭洗濯可能です。

体操服 A 案

○上着

参考価格 5,500 円程度

○冬用長ズボン

参考価格 4,500 円程度



袖口のデザイン



※半ズボン(参考価格 3,000 円程度)のサンプルは、ありません。

※写真により微妙に色合いが異なりますが同じ色です。

令和5年度紀美野町立中学校統合準備委員会 第3部会協議記録

開催日：令和6年1月31日 場所：役場本庁1A会議室

1 記念誌について

(1) 構成

○ 表表紙 『野上中学校 美里中学校 記念誌』（校舎の映った写真もしくは絵）

p.1	校旗（写真）校章（図）校歌	…野上	※表紙裏面
p.2	校旗（写真）校章（図）校歌	…美里	
p.3	紀美野町長		（本人写真）
p.4	教育長		（本人写真）
p.5	学校長（野上）		（本人写真）
p.6	学校長（美里）		（本人写真）
p.7	育友会長（野上）		（本人写真） 1／2頁
	育友会長（美里）		（本人写真） 〃
p.8	生徒会長（野上）		（本人写真） 1／2頁
	生徒会長（美里）		（本人写真） 〃
p.9	学校運営協議会（野上中学校区）		（本人写真） 1／2頁
	学校運営協議会（美里中学校区）		（本人写真） 〃
p.10	神野中学校関係者		（本人写真） 1／2頁 ※要依頼
	不動中学校関係者		（本人写真） 〃 ※要依頼
p.11	国吉中学校関係者		（本人写真） 1／2頁 ※要依頼
	長谷毛原中学校関係者		（本人写真） 〃 ※要依頼
p.12	目次（p.13～		
p.13-14	野上中学校沿革史		
p.15-16	美里中学校沿革史		
p.17	野上中学校歴代役職等（校長・教頭・育友会長）		
p.18	美里中学校歴代役職等（校長・教頭・育友会長）		
p.19	野上中学校生徒数の変遷		
p.20	美里中学校生徒数の変遷		
p.21	新制中学校発足以降の統合		
p.22	東野上中学校沿革史		
p.23	小川中学校沿革史		
p.24	昭和22年創立中学校に関するその他の資料		
p.25-26	神野中学校沿革史		
p.27	神野中学校歴代役職等（校長・教頭・育友会長）		
p.28	神野中学校生徒数の変遷		
p.29-30	不動中学校沿革史		
p.31	不動中学校歴代役職等（校長・教頭・育友会長）		

- p.32 不動中学校生徒数の変遷
- p.33-34 猿川中学校・国吉中学校沿革史
- p.35 猿川中学校・国吉中学校歴代役職等（校長・教頭・育友会長）
- p.36 猿川中学校・国吉中学校生徒数の変遷
- p.37-38 長谷毛原中学校沿革史
- p.39 長谷毛原中学校（校長・教頭・育友会長）
- p.40 長谷毛原中学校生徒数の変遷

（２）中学校関係者への原稿依頼 ※ （推薦していただく方）《敬称略》
 国吉中 … 橋戸 長谷毛原中 … 向井中 神野中 … 松本 不動中 … 浦

（３）配布対象 《３５３部》

- ①在校生（３年生含む）１４０ ②教職員８０ ③町議員１２
- ④統合準備委員会委員３５（令和４年～） ⑤学校２４（海南市） ⑥来賓２０
- ⑦町図書室４ ⑧県立図書館２ ⑨原稿執筆者７ ⑩各市町村教育委員会２９

２ 閉校式について

【別紙資料】

- （１）実施日 ３月２２日（土）…修了式後 野上中；午前 美里中；午後
 I部；行政主催、II部；学校主催
- （２）II部の内容 ※学校ごとのプラン検討
 野上； 清水、若林、西原、尾崎、廣田、中屋
 美里； 中西、横山、喜多、安田、中家 《敬称略》

３ 開校式について

【別紙資料】

- （１）実施日 ４月８日（火） 開校式→着任式 →始業式

４ その他（必要な情報）

- ① 小川中学校章
- ② 神野中学校教頭（昭和２６～３４年度）
- ③ 志賀野 中学校・真国中学校・不動中学校の校歌と校章

野上中学校・美里中学校閉校式について

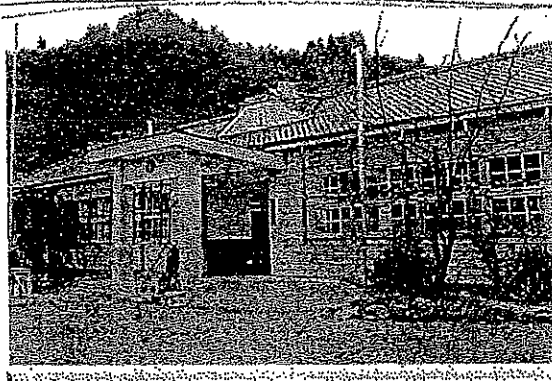
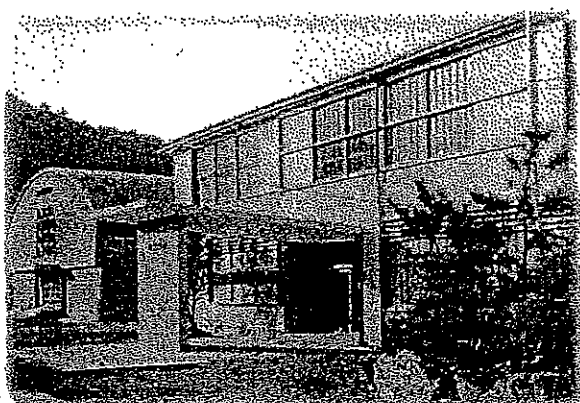
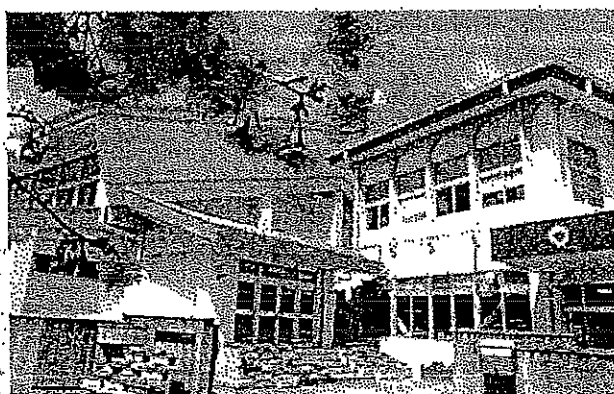
- 1 開催日 令和7年3月22日（土） 午前；野上中、午後；美里中
修了式後 参加者・来賓の入場 ※3月24日（月）振休
- 2 式典 第一部 行政主催 第二部 学校主催
 - （1）第一部 開式のことば 国歌斉唱
閉校宣言
教育委員会式辞
町長あいさつ
生徒代表あいさつ
校歌斉唱
校旗返納 閉式のことば
 - （2）第二部 《検討中》

紀美野中学校開校式について

- 1 開催日 令和7年4月8日（火） 着任式・始業式の前
※ 着任式までは教委で進行
開式のことば 国歌斉唱
開校宣言
教育委員会式辞
町長あいさつ
校旗・校章・校歌を披露 閉式のことば

野上中学校 美里中学校

記念誌



野上中学校 67年間
1958～

美里中学校 42年間
1983～

表



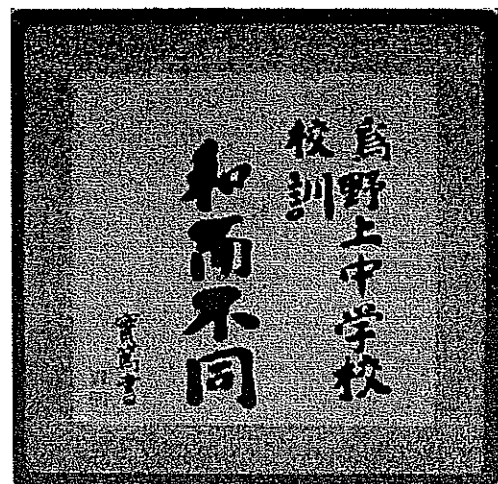
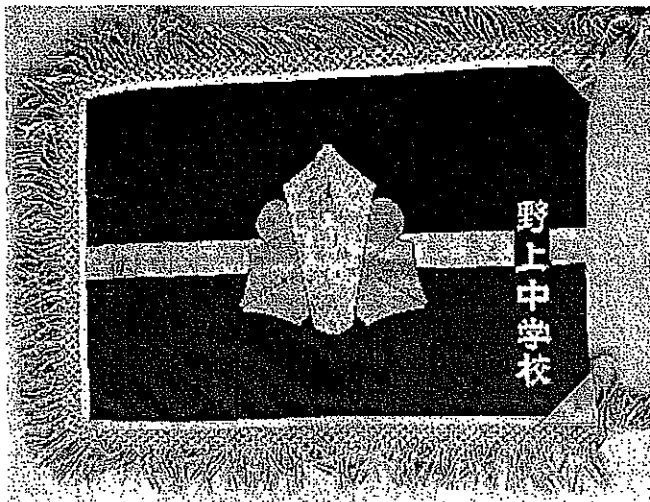
野上中学校

野上中学校校歌

作詞 吉田 敏

作曲 北原 雄一

- 1 仰ぐ生石の 山なみに 今日も希望の 雲がとぶ
三つの誓いも たのめしく ここにつどえる 青春の
ああ夢多き 若きわれらの時代よ のかみ のかみ
おお 野上中学 栄えあれ 栄えあれ
- 2 きくや野上の せせらぎに 明日の理想を 描きつつ
まことを求め ゆくところ いのちのさちの 溢るるを
ああ 遥かなる 若きわれらの行く手よ のかみ のかみ
おお 野上中学 栄えあれ 栄えあれ
- 3 み佐々が原の 朝明けに 自由を告ぐる 鐘はなる
平和の願い ひとすじに 明るく清く 生くる日の
ああ輝ける 若きわれらの母校よ のかみ のかみ
おお 野上中学 栄えあれ 栄えあれ





美里中学校

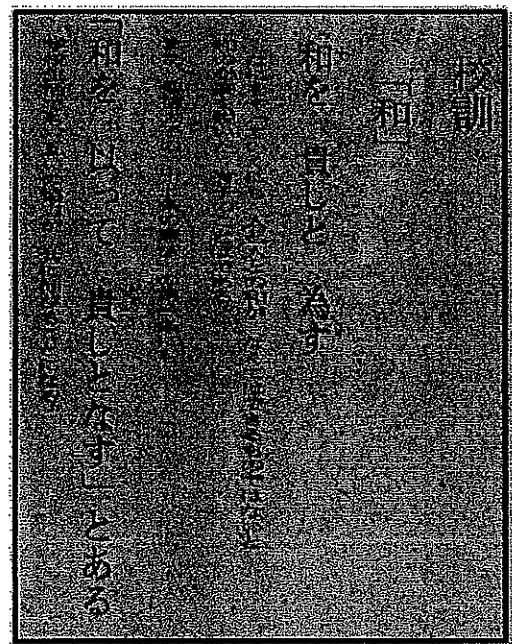
美里中学校校歌

作詞 吉田 敏

作曲 打垣内 正

- 1 ひんがしの空 明けそめて 自由の鐘は なりひびく
ああ人生の 朝明けに 民主の息吹き 野にみちて
知識の泉 汲みかわす
自治の学園 われらが母校

- 3 丘のまどいに 三つとせを 真理を求め ひらすらに
高き理想に あこがれる 若き胸の血汐 火ともえて
希望に生きる 友と友
かぐわし学園 われらが母校



01 「 タ イ ト ル 」

02

紀美野町長 小川 裕康

03

04 《寄稿文》 3 5 × 3 0

《寄稿者写真》

05

06

07

08

09

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

01 「 タ イ ト ル 」

02 紀美野町教育委員会教育長 東中 啓吉

03

04 《寄稿文》 35×30 《寄稿者写真》

05

06

07

08

09

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

01 「 タ イ ト ル 」

02 紀美野町立野上中学校長 尾崎 弘和

03

04 《寄稿文》 35×30 《寄稿者写真》

05

06

07

08

09

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

01 「 タ イ ト ル 」

02 紀美野町立美里中学校長 喜多 智英

03

04 《寄稿文》 3 5 × 3 0 《寄稿者写真》

05

06

07

08

09

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

01 「 タ イ ト ル 」

02 令和6年度野上中学校育友会長 ☐ 氏名 ☐

03 《中学校関係者寄稿文》 40×15 《寄稿者写真》

04

05

06

07

08

09

10

11

12

13

14

15

16

17

18 - - - 予 - 備 - 余 - 白 - - - - -

19 - - - 予 - 備 - 余 - 白 - - - - -

20 「 タ イ ト ル 」

21 令和6年度美里中学校育友会長 ☐ 氏名 ☐

22 《中学校関係者寄稿文》 40×15 《寄稿者写真》

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

01 「 タ イ ト ル 」

02 令和 6 年度野上中学校生徒会長 ☐ 氏名 ☐

03 《中学校関係者寄稿文》 40×15 《寄稿者写真》

04

05

06

07

08

09

10

11

12

13

14

15

16

17

18 - - - 予 - 備 - 余 - 白 - - - - -

19 - - - 予 - 備 - 余 - 白 - - - - -

20 「 タ イ ト ル 」

21 令和 6 年度美里中学校生徒会長 ☐ 氏名 ☐

22 《中学校関係者寄稿文》 40×15 《寄稿者写真》

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

01 「 タ イ ト ル 」

02 野上中学校区学校運営協議会長 山下 育作

03 《中学校関係者寄稿文》 40×15 《寄稿者写真》

04

05

06

07

08

09

10

11

12

13

14

15

16

17

18 - - - 予 - 備 - 余 - 白 - - - - -

19 - - - 予 - 備 - 余 - 白 - - - - -

20 「 タ イ ト ル 」

21 美里中学校区学校運営協議会長 松本 守信

22 《中学校関係者寄稿文》 40×15 《寄稿者写真》

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

01 「 タ イ ト ル 」

02 ○○中学校昭和○○年度卒業生 ☐ 氏名 ☐

03 《中学校関係者寄稿文》 40×15 《寄稿者写真》

04

05

06

07

08

09

10

11

12

13

14

15

16

17

18 - - - 予 - 備 - 余 - 白 - - - - -

19 - - - 予 - 備 - 余 - 白 - - - - -

20 「 タ イ ト ル 」

21 ○○中学校昭和○○年度卒業生 ☐ 氏名 ☐

22 《中学校関係者寄稿文》 40×15 《寄稿者写真》

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

神野

不動

01 「 タ イ ト ル 」

02 ○○中学校昭和○○年度卒業生 □ 氏名 □

03 《中学校関係者寄稿文》 40×15 《寄稿者写真》

04

05

06

国百

07

08

09

10

11

12

13

14

15

16

17

18 - - - 予 - 備 - 余 - 白 - - - - -

19 - - - 予 - 備 - 余 - 白 - - - - -

20 「 タ イ ト ル 」

21 ○○中学校昭和○○年度卒業生 □ 氏名 □

22 《中学校関係者寄稿文》 40×15 《寄稿者写真》

23

24

25

長谷毛原

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

目 次

p.13-14	野上中学校沿革史
p.15-16	美里中学校沿革史
p.17	野上中学校歴代役職等 (校長・教頭・育友会長)
p.18	美里中学校歴代役職等 (校長・教頭・育友会長)
p.19	野上中学校生徒数の変遷
p.20	美里中学校生徒数の変遷
p.21	新制中学校発足以降の統合
p.22	東野上中学校沿革史
p.23	小川中学校沿革史
p.24	昭和22年創立中学校に関するその他の資料
p.25-26	神野中学校沿革史
p.27	神野中学校歴代役職等 (校長・教頭・育友会長)
p.28	神野中学校生徒数の変遷
p.29-30	不動中学校沿革史
p.31	不動中学校歴代役職等 (校長・教頭・育友会長)
p.32	不動中学校生徒数の変遷
p.33-34	猿川中学校・国吉中学校沿革史
p.35	猿川中学校・国吉中学校歴代役職等 (校長・教頭・育友会長)
p.36	猿川中学校・国吉中学校生徒数の変遷
p.37-38	長谷毛原中学校沿革史
p.39	長谷毛原中学校 (校長・教頭・育友会長)
p.40	長谷毛原中学校生徒数の変遷

野上中学校沿革（１９８３．４～）

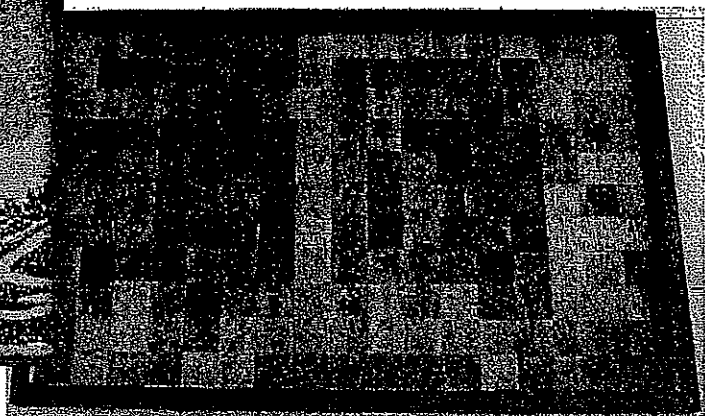
昭和33年3月29日	野上町の中央に統合中学校舎が完成し、落成式を挙げる。
昭和33年4月8日	第1回入学式を挙げる。（入学生126名）
昭和33年4月14日	三校統合を象徴し、ペン三本を組み合わせた校章を制定する。
昭和33年5月8日	町公民館にて育友会設立総会を開催する。
昭和34年3月10日	校歌制定（作詞 吉田 敏 作曲 北原雄一）
昭和34年3月20日	第1回卒業証書授与式を挙げる。（卒業生193名）
昭和35年4月9日	校訓「和而不同」を制定。武者小路実篤氏に揮毫を依頼する。
昭和35年5月25日	体育館完成に伴う落成式を挙げる。
昭和37年4月9日	生徒必携の書として生徒手帳を制定する。
昭和37年11月12日	廃品回収の利益、及び校費にてグランドピアノを購入する。
昭和39年10月30日	東京オリンピック開催を記念して、様式庭園、岩石園、相撲場等を建造する。
昭和41年9月5日	生牛乳の補食給食を開始する。
昭和43年1月13日	中学校発足20周年、本校創立10周年記念式を挙げる。小川中学校、東野上中学校、野上中学校同窓会名簿を作成する。
昭和43年1月29日	冬季味噌汁給食を開始する。
昭和43年10月6日	屋野房太郎 氏より時計塔が寄贈される。
昭和45年12月11日	下佐々地区より電気計算機が寄付される
昭和47年	プール竣工式を挙げる。
昭和48年10月20日	自転車通学生徒全員が、ヘルメットを着用することとする。
昭和49年9月16日	柔道剣道場を改装し、町格技場として道場開きを行う。
昭和50年9月1日	生徒自転車置き場、体育部室が完成する。
昭和54年9月15日	育友会で第1回キックベースボール大会を開催する。（参加230名）
昭和54年9月18日	保健統計優良校として文部大臣表彰を受ける。
昭和59年11月13日	文部省指定中学校教育課程研究発表会を開催する。国語科・数学科・特別活動の授業公開、生徒会による生徒発表、研究発表、講演を実施する。（講師；河原政則 氏）
昭和63年9月18日	見上あさみ 氏寄贈、橋本和明 氏作成のブロンズ像「風のしらべに」を披露する。
昭和63年11月16日	本校育友会が優良PTA文部大臣表彰を受ける。
平成2年4月22日	体育館完成記念行事として、中国山東省雑技団が公演する。小中学校児童生徒が鑑賞する。
平成2年11月15日	県音楽教育研究会を野上町小中学校で開催する。中学部で授業を公開する。（平成5年度も同様に公開）
平成3年1月31日	創立30周年を記念する集いを開催する。（講師 津本 陽 氏、参加生徒430名、一般200名）
平成5年4月26日	町立武道館の竣工式が挙行される。
平成5年10月28日	普通教室2室を改装してコンピュータ室とし、機器を設置。
平成6年11月22日	文部省指定武道指導推進校実践成果発表会を授業公開・実践発表・講演の日程で開催する。テーマ「自ら学ぶ意欲を高め、豊かな心を育成する武道指導はどうあるべきか」（講師 作道 正夫 氏）
平成7年1月24日	生徒会・育友会ともに、阪神淡路大震災による被災地への義援金を送る。
平成8年5月29-31日	本校独自の計画で春季に3年生修学旅行を実施する。
平成9年11月21日	県特殊（特別支援）教育研究会が本町小中学校で開催される。本校では、授業公開と分科会を実施する。
平成10年3月30日	創立40周年を記念し、クスノキを中庭西側に植樹する。
平成12年11月7日	総合的な学習の時間の試行が始まる。2年生が本年度より町内事業所で勤労体験を実施することとなる。（1年生；ボランティア活動、3年生；生き方学習）

平成14年4月13日	学校週5日制度が実施され、土曜日が休業となる。
平成14年11月8日	県学校体育研究大会が本町で開催される。本校では授業公開を実施する。
平成15年11月20日	科学部が日本学生科学賞県知事賞を受賞する。
平成17年11月29日	平成16・17年度文部科学省指定「児童生徒の心に響く道德教育推進校」として、実践研究成果発表会、兼近畿中学校道德教育研究大会を授業公開・研究発表・講演の日程で開催する。(講師 横山 利弘 氏)
平成18年1月1日	野上町と美里町が合併して紀美野町となる。校名を紀美野町立野上中学校と改称する。
平成18年4月10日	これより開校記念日を休業日としないことを決定する。
平成19年4月24日	全国学力学習状況調査が3年生を対象に実施される。
平成19年10月27日	平成18・19年度文部科学省指定「児童生徒の心に響く道德教育推進校」として、実践研究成果発表会を授業公開・研究発表・講演の日程で開催する。(講師 南本 長穂 氏)
平成20年11月16日	白浜町で開催された県中学校駅伝競走大会において、男子チームが優勝する(12月21日、山口県で開催の全国大会出場)。
平成20年10月24日	道德教育実践研究の一環として、「心を伝える話し方」をテーマに教育講演会を開催する。生徒・教職員・保護者・地域住民が聴講する。(講師 宮上 明子 氏)
平成21年10月30日	平成20・21年度文部科学省指定「道德教育推進校」として、実践研究成果発表会を授業公開・研究発表・講演の日程で開催する。(講師 島 恒生 氏)
平成21年11月15日	本町で開催された県中学校駅伝競走大会において、男子チームが優勝する(12月18日、山口県で開催の全国大会出場)。また、女子チームが第2位となる。
平成22年8月9日	吹奏楽部が県吹奏楽コンクールで金賞を受賞する。
平成22年11月21日	本町で開催された県中学校駅伝競走大会において、女子チームが優勝する(12月18日、山口県で開催の全国大会出場)。
平成23年3月24日	生徒会・育友会が、3月14日に発生した東日本大震災被災者への義援金を町役場と通じて支援する。
平成23年5月13・15日	東日本大震災の影響で、修学旅行を長崎方面で実施する。
平成23年8月23日	本校の長年にわたる地域貢献活動(高齢者への絵手紙、地域清掃等)に対して和歌山キワニス賞の表彰を受ける。
平成24年8月19日	下佐々地区自主防災組織と全校生徒が合同防災訓練を実施する。避難所設営・運営に協力する。
平成25年4月9日	中学校給食が開始、下神野小学校調理場から配送される。
平成25年6月21日	校舎の大規模改修工事を開始(平成26年2月3日まで)
平成27年11月15日	本町で開催された県中学校駅伝競走大会において、男子チームが優勝する(12月12日、山口県で開催の全国大会出場)。
平成28年5月23日	闘病中の向山美好教諭が逝去される。遺族により本校教育支援のための「向山基金」を設置。
平成29年12月8日	創立60周年式典を挙げる。水谷もりひと 氏による記念講演は、町民大学講座を兼ねて開催する。(参加約300名)
平成30年7月27日	野上中学校区コミュニティスクール第一回運営協議会を開催する。
令和2年2月5日	「きみの未来フォーラム」を本校体育館で開催する。本校・大成校舎・りら創造の生徒発表と地域住民を含めた参加者でグループトークを行う。
令和2年3月2日	新型コロナウイルス感染症対策のため政府要請により臨時休業となる。(後に休業期間は5月31日までとなる)
令和2年5月11日	臨時休業中にオンライン学習を実施する。
令和4年11月30日	令和7年度新中学校開校に向け、美里中学校区学校運営協議会と野上中学校区学校運営協議会を合同開催する。(会場;野上小学校)

美里中学校沿革（1983. 4～）

昭和58年4月1日	神野中学校と不動中学校が統合して美里中学校開校 (生徒数135名)
昭和58年4月5日	体育館竣工
昭和58年6月7日	開校記念祝賀式挙行。けやきを記念植樹する。
昭和59年2月15日	校歌制定（旧神野中学校校歌）
昭和59年6月1日	開校記念日を6月1日に制定
昭和60年4月1日	国吉中学校を統合
昭和62年10月6日	長谷毛原中学校と合同で意見発表会を開催する。
昭和62年6月20日	セミナーハウス未来塾で4泊5日の集団合宿を実施（1年生）
昭和62年8月16日	//（2年生）
昭和62年8月23日	//（3年生）
平成2年10月23日	文部省指定心身障害児理解推進校研究発表会の開催する。和歌山 大学附属養護学校の生徒も交流学习として参加し、盛大に行われ た。（参加75名）
平成3年10月7日	新宮橋架け替え工事完了
平成4年9月12日	第二土曜日が休業となる。
平成6年10月10日	美里町スポレク祭・町民ゲートボール大会が開催され全校生徒が 参加する。
平成6年11月14日	文部省指定「教育課程研究発表会」を開催する。（参加120名）
平成7年7月8日	「星の動物園みさと天文台」オープニングイベントとして講演会 を本校で開催する。（講師；佐藤文隆・渡辺潤一 両氏）
平成7年11月23日	県小中学校音楽祭に海草地方代表として2年生が出演する。
平成8年11月18日	第1回校内文化祭を実施する。（大阪芸術大学クラリネット演 奏、生徒舞台発表、生徒作品・学習成果の展示）
平成9年1月27日	校訓「和」を制定する。
平成9年2月18日	本校ホームページを開設する。
平成11年6月5日	郵政省「自治体ネットワーク施設整備事業」のテレビ会議システ ムにより鹿児島県志摩館中学校と生徒会役員・コンピュータクラブ 員がテレビ会議で交流する。
平成11年10月31日	「ネットデイ美中」として、地域内外のボランティアの尽力によ り校内インターネットLAN工事を行う。
平成11年11月30日	「情報教育実践研究」自主研究発表会を開催する。（参加約200 名）
平成13年11月27日	平成12・13年度県指定「総合的な学習の時間」先行実施の実践研 究発表会を開催する。（参加者150名）
平成14年2月18日	本校の教育実践が、県教育研究奨励賞団体賞を受賞する。
平成18年1月1日	野上町・美里町が合併して紀美野町となり、紀美野町立美里中学 校に改称する。
平成18年11月28日	県指定「きのくに学びの創成」研究発表会を公開授業・全大会・ 講演会の日程で開催する。講師；遠藤瑛子 氏（平成19年度は11月 13日に開催）
平成20年9月1日	下神野・福田地区の自主防災組織とともに、第1回地域総合防災 訓練を本校で開催する。（以後毎年開催する。）

平成20年11月27日	「協働学習」「コミュニケーショントレーニング」の実践をテーマとする自主研究発表会を開催する。講師；遠藤瑛子 氏（21・22・23年度も開催）
平成24年11月16日	「ことばの力向上」の実践をテーマとする自主研究発表会を開催する。講師；杉江修治 氏 （以後、27年度まで毎年開催、講師；遠藤瑛子 氏）
平成29年4月1日	長谷毛原中学校を統合する。
平成30年9月6日	台風21号の被害で停電・断水のため臨時休業とする。 国道370号不通のため毛原地区の生徒は5～7日を自宅学習とする。
令和元年5月28日	第1回美里中学校区学校運営協議会発足
令和2年3月2日	新型コロナウイルス感染症対策のため政府要請により臨時休業となる。（～24日）
令和2年4月8日	新型コロナウイルス感染症対策のため入学生5名と保護者、教職員で入学式を挙げる。
令和2年4月9日	政府要請により臨時休業継続となる。（～5月31日）
令和2年5月12日	オンライン会議システムを利用して、在宅中の生徒がタブレット端末による授業を開始する。
令和2年6月1日	生徒の登校が再開する。6月5日までは午前中のみ、6月12日までは5限までの授業とする。
令和2年8月1-2日	海草地方中学校総合体育大会の代替大会が開催され生徒が出場する。（県大会以上の開催は中止）
令和2年8月7日	1学期終業式（授業時数確保のため夏季休業期間短縮）
令和2年8月8日	2学期始業式（授業時数確保のため夏季休業期間短縮）
令和2年10月12日	- 本校体育館にて、中学校統合に関する教育委員会説明会を開催する。
令和3年7月6-19日	新型コロナウイルス感染症対策のため水泳授業が中止されていたが、野上中学校プールで水泳授業を再開する。
令和3年7月21日	家庭読書「家読」週間を制定する。
令和5年2月3日	美里中学校区学校運営協議会が文部科学大臣賞受賞する。
令和5年2月22日	美里中学校区学校運営協議会を野上中学校区学校運営協議会との合同で開催する。



野上中学校

■ 歴代校長

敬称略

① 吉田 敏 (昭和33～40年度)	⑨ 竹内 宏行 (平成8～12年度)
② 中原 正治 (昭和41～47年度)	⑩ 橋戸 常年 (平成13～19年度)
③ 橋本 常一 (昭和48～50年度)	⑪ 道下 雄三 (平成20～23年度)
④ 北山 武児 (昭和51～56年度)	⑫ 山下 育作 (平成24～27年度)
⑤ 口井輝一郎 (昭和57～59年度)	⑬ 中屋多加志 (平成28・29年度)
⑥ 吉田 耕治 (昭和60・61年度)	⑭ 浦 明裕 (平成30～令和2年度)
⑦ 岡 宏 (昭和62～平成4年度)	⑮ 嵩村 敏樹 (令和3年度)
⑧ 南方 好治 (平成5～7年度)	⑯ 尾崎 弘和 (令和4～6年度)

■ 歴代教頭

敬称略

① 西峯 茂夫 (昭和33・34年度)	⑪ 松下 整諫 (昭和62～平成3年度)
② 松本 寅二 (昭和35～38年度)	⑫ 中嶋 健 (平成4～6年度)
③ 寺山 勇作 (昭和39～45年度)	⑬ 福田 佳史 (平成7～15年度)
④ 北山 武児 (昭和46～50年度)	⑭ 大西 孝亮 (平成16～20年度)
⑤ 山畑 義正 (昭和51年度)	⑮ 山下 育作 (平成21・22年度)
⑥ 岩倉 崇 (昭和52年度)	⑯ 中浦 晴美 (平成23～25年度)
⑦ 栗本 格男 (昭和53・54年度)	⑰ 前田 耕平 (平成26・27年度)
⑧ 浅川 純爾 (昭和55～57年度)	⑱ 中家 敦司 (平成28～30年度)
⑨ 柳瀬 昌宏 (昭和58・59年度)	⑲ 喜多 智英 (平成31～令和3年度)
⑩ 岡 宏 (昭和60・61年度)	⑳ 廣田 隆弘 (令和4～ 年度)

■ 歴代育友会長

敬称略

① 藪 信夫 (昭和33・34年度)	⑳ 中谷 展也 (平成12年度)
② 西本 勉 (昭和35・36年度)	㉑ 曲里 雅人 (平成13年度)
③ 宗 正彦 (昭和37～40年度)	㉒ 湯上ひとみ (平成14年度)
④ 寺本 正次 (昭和41・42年度)	㉓ 増谷 守哉 (平成15年度)
⑤ 山下 登 (昭和43・44年度)	㉔ 中谷 展也 (平成16年度)
⑥ 池本 司 (昭和45～47年度)	㉕ 田伏 嘉子 (平成17年度)
⑦ 西原 和夫 (昭和48・49年度)	㉖ 西浦 充生 (平成18年度)
⑧ 北 貞治 (昭和50～52年度)	㉗ 梅原 健嗣 (平成19年度)
⑨ 大野 勝一 (昭和53・54年度)	㉘ 村畠 康秀 (平成20年度)
⑩ 温井 救之 (昭和55・56年度)	㉙ 中谷 昌弘 (平成21年度)
⑪ 丸畑 邦夫 (昭和57・58年度)	㉚ 細嶋 康則 (平成22年度)
⑫ 垣内 主税 (昭和59年度)	㉛ 今野 和真 (平成23年度)
⑬ 前田 祉郎 (昭和60・61年度)	㉜ 西田 善光 (平成24年度)
⑭ 東芝 学 (昭和62年度)	㉝ 丸畑 明彦 (平成25年度)
⑮ 朝川 睦夫 (昭和63～平成元年度)	㉞ 山本 潤子 (平成26年度)
⑯ 結城 嗣郎 (平成2年度)	㉟ 桑添 公博 (平成27年度)
⑰ 上田 勝彦 (平成3年度)	㊱ 田淵 鉄也 (平成28・29年度)
⑱ 浦野 英男 (平成4年度)	㊲ 堀 正明 (平成30年度)
⑲ 小椋 孝一 (平成5年度)	㊳ 中西 敏揮 (令和元年度)
㉑ 橋本 裕史 (平成6年度)	㊴ 平川 太一 (令和2年度)
㉒ 菊本 邦夫 (平成7年度)	㊵ 兼本 得善 (令和3年度)
㉓ 西山 修平 (平成8年度)	㊶ 山下日出人 (令和4年度)
㉔ 中井 弘 (平成9年度)	㊷ 清水 幹雄 (令和5・6年度)
㉕ 谷坂 勉 (平成10年度)	
㉖ 林 秀吉 (平成11年度)	

■ 歴代校長

敬称略

① 堀田 夢務呂 (昭和58・59年度)	⑨ 高岡 成豪 (平成20～23年度)
② 松尾 好司 (昭和60～63年度)	⑩ 大西 孝亮 (平成24～26年度)
③ 小川 佳麿 (平成元～2年度)	⑪ 中屋 多加志 (平成27年度)
④ 南方 好治 (平成3～4年度)	⑫ 前田 耕平 (平成28年度)
⑤ 竹内 宏行 (平成5～7年度)	⑬ 中家 寛 (平成29年度)
⑥ 東浦 啓祐 (平成8～9年度)	⑭ 嵩村 敏樹 (平成30～令和2年度)
⑦ 潰崎 泰彦 (平成10～14年度)	⑮ 尾崎 弘和 (令和3年度)
⑧ 中西 康裕 (平成15～19年度)	⑯ 喜多 智英 (令和4～5年度)

■ 歴代教頭

敬称略

① 沢 忠夫 (昭和58年度)	⑧ 小谷 雅之 (平成16～17年度)
② 山本 正司 (昭和59～62年度)	⑨ 山下 育作 (平成18～20年度)
③ 東浦 啓祐 (昭和63年度)	⑩ 野田 泰生 (平成21・22年度)
④ 平田 仁美 (平成元～3年度)	⑪ 小坂 佳子 (平成23～27年度)
⑤ 中南 敏孝 (平成4～10年度)	⑫ 藪根 一仁 (平成28～令和元年度)
⑥ 妻木 康彰 (平成11・12年度)	⑬ 久保 雅秀 (令和2・3年度)
⑦ 野崎 和男 (平成13～15年度)	⑭ 安田 雄一 (令和4～5年度)

■ 歴代育友会長

敬称略

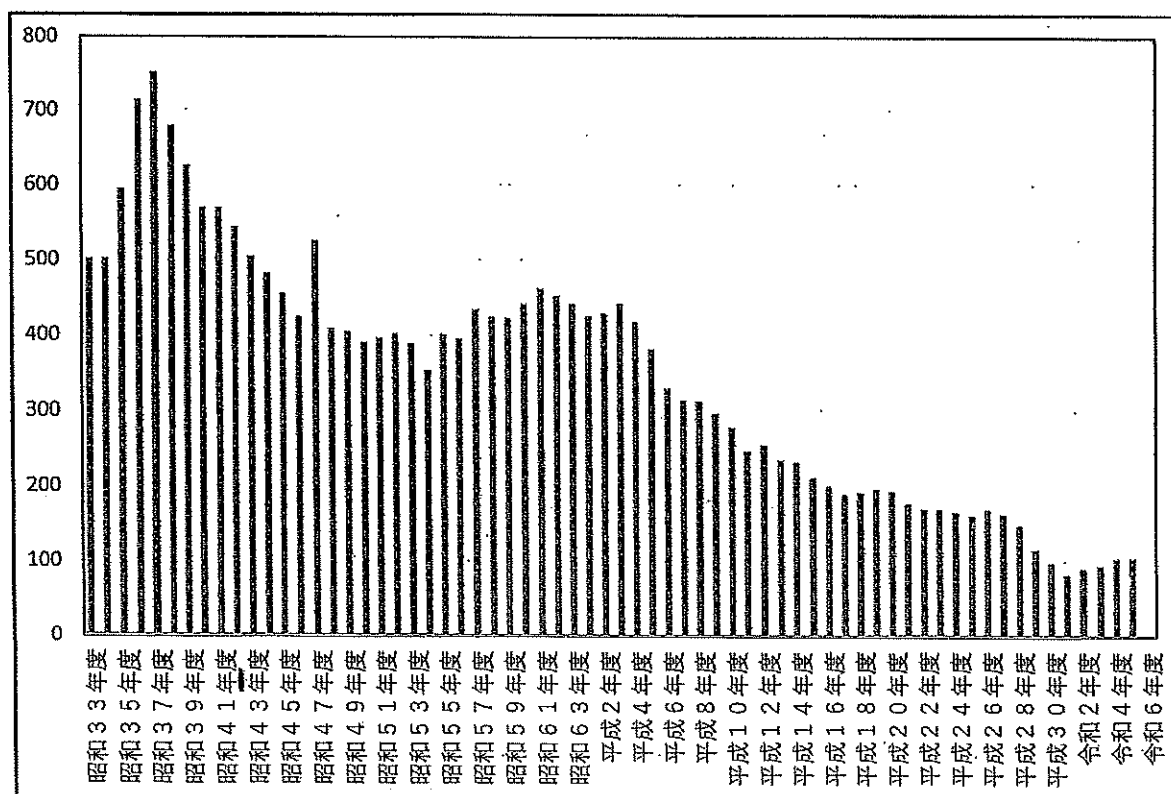
① 尾初瀬 恭生 (昭和58・59年度)	⑰ 堀口 眞慶 (平成20年度)
② 折口 左近 (昭和60～63年度)	⑱ 北端 利章 (平成21年度)
③ 三浦 修身 (平成元年度)	⑲ 寺本 真弓 (平成22年度)
④ 東平 正司 (平成2年度)	⑳ 西田 小百合 (平成23年度)
⑤ 前畔 雅雄 (平成3・4年度)	㉑ 東芝 博昭 (平成24年度)
⑥ 植村 泰和 (平成5～7年度)	㉒ 中前 貴康 (平成25年度)
⑦ 西鳥 裕章 (平成8年度)	㉓ 油谷 正之 (平成26年度)
⑧ 西浦 史雄 (平成9～10年度)	㉔ 松本 守信 (平成27～29年度)
⑨ 瀧本 達弥 (平成11年度)	㉕ 古岩 秀章 (平成30年度)
⑩ 古梅 恭好 (平成12年度)	㉖ 芝瀧 竜介 (平成31年度)
⑪ 梶谷 幸司 (平成13年度)	㉗ 折口 功次 (令和2年度)
⑫ 古梅 恭好 (平成14年度)	㉘ 鞍 雄介 (令和3年度)
⑬ 岡本 好司 (平成15年度)	㉙ 又野 寛 (令和4年度)
⑭ 大野 太示 (平成16年度)	㉚ 中西 敏揮 (令和5年度)
⑮ 井岡 成容 (平成17年度)	㉛ (令和6年度)
⑯ 松本 守信 (平成18・19年度)	

野上中学校生徒数の変遷

年度	生徒数
昭和33年度	501
昭和34年度	502
昭和35年度	594
昭和36年度	715
昭和37年度	752
昭和38年度	679
昭和39年度	626
昭和40年度	570
昭和41年度	570
昭和42年度	544
昭和43年度	505
昭和44年度	483
昭和45年度	456
昭和46年度	425
昭和47年度	526
昭和48年度	409
昭和49年度	405
昭和50年度	391
昭和51年度	396
昭和52年度	402
昭和53年度	389
昭和54年度	354
昭和55年度	402

年度	生徒数
昭和56年度	395
昭和57年度	434
昭和58年度	425
昭和59年度	423
昭和60年度	441
昭和61年度	462
昭和62年度	453
昭和63年度	442
平成元年度	426
平成2年度	429
平成3年度	443
平成4年度	419
平成5年度	382
平成6年度	330
平成7年度	314
平成8年度	314
平成9年度	297
平成10年度	278
平成11年度	247
平成12年度	256
平成13年度	235
平成14年度	247
平成15年度	256
平成16年度	235

年度	生徒数
平成14年度	233
平成15年度	212
平成16年度	201
平成17年度	190
平成18年度	192
平成19年度	197
平成20年度	194
平成21年度	178
平成22年度	171
平成23年度	170
平成24年度	167
平成25年度	162
平成26年度	170
平成27年度	163
平成28年度	149
平成29年度	116
平成30年度	99
令和元年度	83
令和2年度	91
令和3年度	94
令和4年度	105
令和5年度	105
令和6年度	

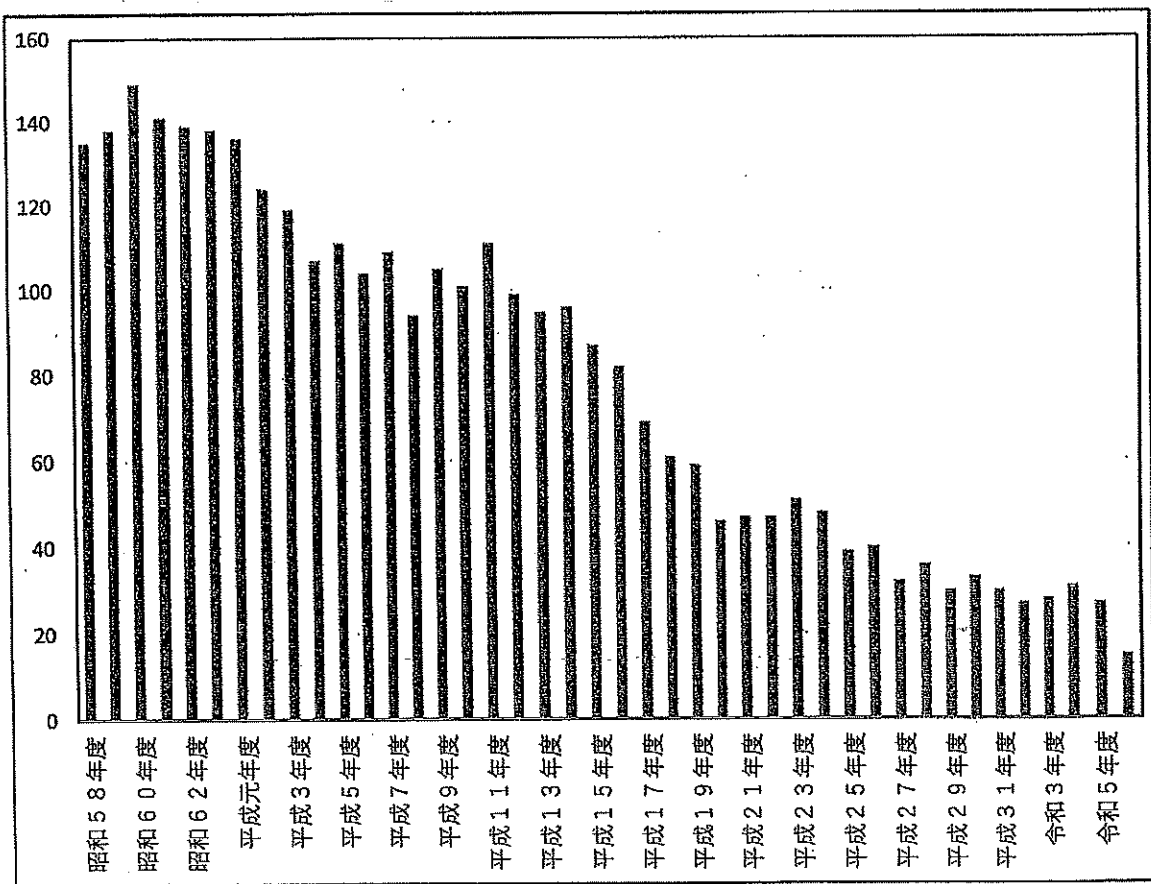


美里中学校生徒数の変遷

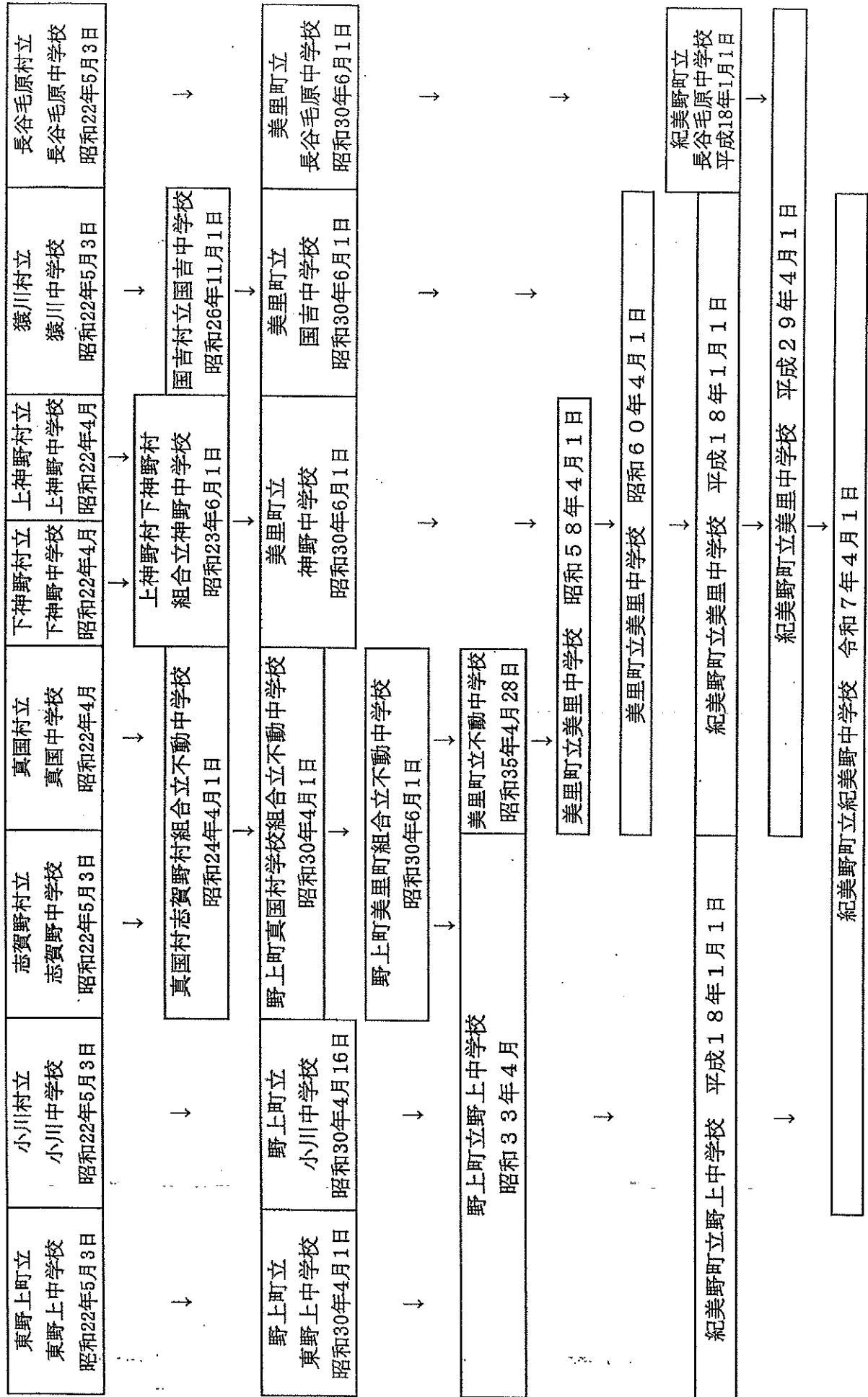
年度	生徒数
昭和58年度	135
昭和59年度	138
昭和60年度	149
昭和61年度	141
昭和62年度	139
昭和63年度	138
平成元年度	136
平成2年度	124
平成3年度	119
平成4年度	107
平成5年度	111
平成6年度	104
平成7年度	109
平成8年度	94
平成9年度	105

年度	生徒数
平成10年度	101
平成11年度	111
平成12年度	99
平成13年度	95
平成14年度	96
平成15年度	87
平成16年度	82
平成17年度	69
平成18年度	61
平成19年度	59
平成20年度	46
平成21年度	47
平成22年度	47
平成23年度	47
平成24年度	47

年度	生徒数
平成23年度	51
平成24年度	48
平成25年度	39
平成26年度	40
平成27年度	32
平成28年度	36
平成29年度	30
平成30年度	33
令和元年度	30
令和2年度	27
令和3年度	28
令和4年度	31
令和5年度	27
令和6年度	15



新制中学校発足以降の統合

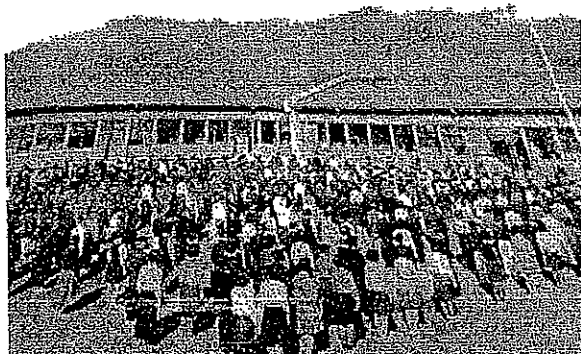
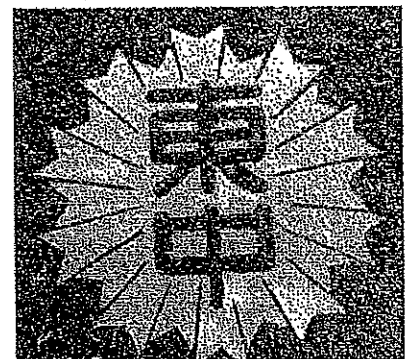


東野上中学校沿革（1947. 5～1957. 3）

昭和22年5月3日	新憲法実施記念日にあたり東野上町立東野上中学校開校式を挙行する。校舎は、元の野上実践女学校跡を使用する。
昭和22年10月19日	第1回体育大会を小学校運動場にて開催する。
昭和22年12月8日	実験学校研究会を開催する。
昭和23年2月6日	運動場西側の垣根用ツゲを全校生徒・教職員が黒沢山町有林で採取する。
昭和23年3月24日	第1回卒業式を挙行する。
昭和23年4月20日	校地内の本町役場が元の場所に移転し、2教室を増設する。
昭和23年5月5日	旧制中等学校で高等学校に昇格した併設3年生が出身学校に復帰となり、50名を編入す
昭和24年1月13日	校地内の野上厚生病院が移転し、理科室・家庭科室を設置する。
昭和24年1月17日	学級改編（1年生4学級、2年生3学級、3年生2学級） 校訓「和」を制定する。
昭和24年3月9日	新築校舎建設の決定により、全校生徒・教職員が土曜日の午後に、また、他の曜日は各学級交代で、コンクリート用砂利運搬を行う。
昭和24年3月17日	砂利運搬が生徒の努力にもかかわらず予定量に達しないため、青年団が後輩のため、町のために作業に加わる。
昭和24年8月26日	校舎竣工により、正規の学級編成に再編する。
昭和24年8月30日	本館校舎（西側）が完成し、落成式を挙行する。午後祝賀会を開催する。
昭和25年3月11日	卒業生が校舎前に記念植樹を行う。
昭和28年7月18日	台風の影響により、校舎等全中損壊する。生徒宅は、家屋流失4、床上浸水14、床下浸水22の被害を受ける。
昭和31年1月20日	小中学校合同運動場の整地工事が完了する。
昭和31年4月1日	東野上町が志賀野村を合併する。
昭和31年5月1日	東野上町と小川村が合併して野上町と称する。校名を野上町立東野上中学校と改称する。
昭和32年1月18日	下佐々地区に総合中学校の建設が始まる。
昭和33年3月31日	新設総合中学校である野上中学校に統合される。

東野上中学校校歌 作詞 作曲

- 1 緑色濃き 山脈に 希望の光 輝きて
清き流れの野上川 若き命を 湛うなり
あゝ うるわしの わが東中
- 2 自由の鐘が 高なりて 平和の光 うらゝなり
自律の旗を ふりかざし 共に求めん 眞の理
あゝ うるわしの わが東中
- 3 熱よ誠よ 一すじに 心を生かし 身を生かし
互に助け いたわりて 共に築かん 文化郷
あゝ 頼もしき わが東中



昭和30年頃

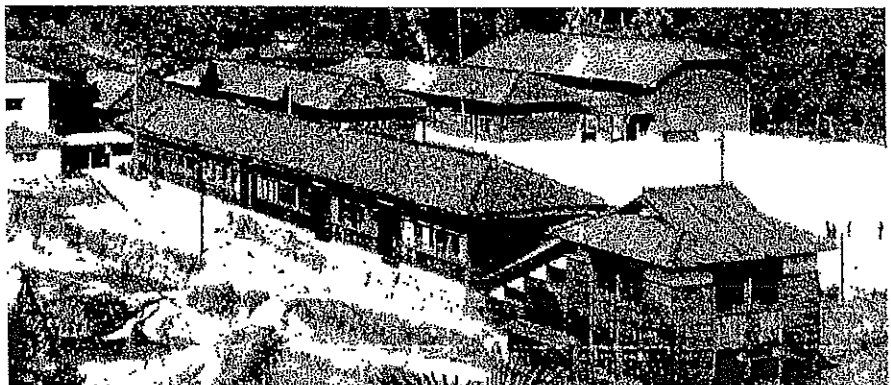


小川中学校沿革（1947. 5～1957. 3）

昭和22年5月3日	新憲法実施記念日にあたり開校式を挙げる。引き続き授業を開始する。 小川小学校講堂を板がこいで3分し、横の教室を合わせて4学級編成とする。職員室は小学校裁縫教室を使用する。
昭和22年10月18日	小学校と合同で第1回運動会を実施する。
昭和23年2月24日	小学校と合同で学芸会を実施する。
昭和23年3月23日	第1回卒業式を挙げる。（卒業生18名）
昭和24年3月25日	3教室竣工
昭和24年6月30日	2階造り2教室完成
昭和24年10月17日	校舎新築落成記念行事を挙げる。
昭和25年2月10日	校歌が完成し、学芸会で披露する。
昭和28年3月15日	卒業生が校庭に記念植樹を行う。
昭和28年8月14日	同窓会結成（初代会長 小谷 晋氏）
昭和29年5月1日	東野上町と小川村が合併して野上町となる。それに伴い、校名を野上町立小川中学校と改称する。
昭和29年12月27-28日	第1回文化祭を実施する。
昭和31年5月4日	卒業生が校舎前に記念植樹を行う。
昭和31年10月18日	保育所と合同で体育祭を開催する。
昭和32年3月24日	閉校式を挙げる。
昭和33年3月31日	新設総合中学校である野上中学校に統合される。

小川中学校校歌 作詞・作曲 不明

- あさ雲 なびく 生石山 学びの窓に 仰ぎ見て
延び行く 生命 はつらつと 三年の春を 励み行く
小川中学 希望あれ
- 香りも 高き 梅本の 流れに清く 身を洗い
自知に うるわし 眉あげて 夢おおらかに 育ち行く
小川中学 使命あれ
- 里に 平和の 夜があけて 緑の風の わたるとこ
正しく 強く 手を取りて 明日の力を 築き行く
小川中学 栄えあれ



東野上町立東野上中学校（昭和22～32年度）

■ 歴代校長

敬称略

① 松下行夫（昭和22～24年度）	③ 岡井 功（昭和27～31年度）
② 田尻直嗣（昭和25・26年度）	④ 吉田 敏（昭和32年度）

■ 歴代教頭

敬称略

① 伊東信男（昭和22～24年度）	③ 森 栄俊（昭和25～32年度）
② 北川末之（昭和24年度）	

小川村立小川中学校（昭和22～32年度）

■ 歴代校長

敬称略

① 田和正一（昭和22～24年度）	③ 中原幸夫（昭和26～ 年度）
② 坂垣内義治（昭和25年度）	

■ 歴代教頭

敬称略

① 不詳（昭和22年度～）	② 尾絵（昭和24年度～） ※名・以降不詳
---------------	-----------------------

■ 歴代育友会長

敬称略

① 西井亀一（昭和22～24年度）	④ 坂垣内重太郎（昭和29年度）
② 西原正己（昭和25・26年度）	⑤ 永野 諭（昭和30年度）
③ 西浦清一（昭和27・28年度）	⑥ 小川五十鈴（昭和31・32年度）

志賀野村立志賀野・真国中学校（昭和22・23年度）

昭和22年5月3日 志賀野村立志賀野中学校開校 ※志賀野小学校沿革史より

志賀野中学校と西野の西方寺を仮教室として授業を開始したが、昭和23年4月に志賀野村・真国村組合立不動中学校を設立し、村境である東野へ校舎を新築した。 ※野上町史より

■ 歴代校長

敬称略

① 記田 晋（昭和22年度）	教頭 ※ 不詳
----------------	---------

上神野村立上神野中学校（昭和22年度）

■ 歴代校長

敬称略

校長 ※ 不詳	教頭 浦久保 章三
---------	-----------

下神野村立下神野中学校

■ 校長・教頭（昭和22年度）

敬称略

校長 ※ 不詳	教頭 ※ 不詳
---------	---------

神野中学校沿革（1948. 4～1983. 3）

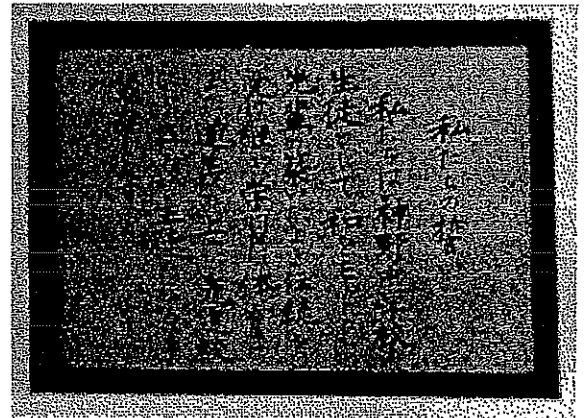
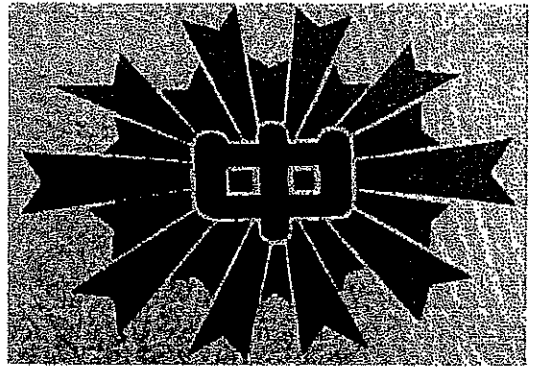
昭和23年1月27日	上神野村・下神野村両村に対して、県より組合立による中学校創設が許可される。
昭和23年4月1日	上神野村・下神野村神野中学校設立
昭和23年4月12日	両村中学校の校舎を使用して授業を開始する。
昭和23年6月1日	上神野村・下神野村組合立神野中学校開校
昭和25年5月1日	校訓「和」を制定する。
昭和26年2月9日	育友会が半額負担してピアノを購入する。
昭和28年11月	読売科学賞最優秀賞（県）を受賞する。 （昭和44年度まで連続受賞）
昭和28年12月7日	ユニセフミルク給食開始
昭和30年6月1日	美里町発足により、美里町立神野中学校に校名を変更する。
昭和31年1月14日	講堂落成
昭和32年11月3日	校門完成（講堂前石垣）
昭和33年1月2日	創立10周年を記念して同窓会を結成する。
昭和33年3月18日	創立10周年記念式、兼4教室増築の落成式を挙げる。 卒業生の寄贈により洗面所・足洗い場が新校舎前に完成する。
昭和35年9月13日	育友会員並びに一般の寄付金により、高・低鉄棒、及びテニス・バレーボールネット支柱が完成する。
昭和36年9月16日	第二室戸台風による被害（校舎・講堂の天井一部損壊、渡り廊下・自転車置き場・運動場柵倒壊）
昭和36年12月11日	サッカー・バスケットゴールが育友会員の寄付と町費により完成する。
昭和37年7月28-29日	校舎を使用して全校キャンプを実施する。
昭和37年10月7日	創立15周年を記念して、育友会が鉄筋の体育器具倉庫を建設する。また、記念運動会を開催する。
昭和38年1月1日	教職員・全校生徒で元旦祝賀式を挙げる。
昭和39年6月1日	開校記念日を制定する。
昭和40年9月30日	台風23号の影響で自転車置き場倒壊の被害を受ける。
昭和41年4月23日	P.T.A行事として、簡易保険金徴収手数料を会計に移入することを決定する。
昭和45年6月8日	大阪で開催されている万国博覧会を全校生徒が見学する。
昭和45年8月22日	旧校舎撤去作業を開始する。野中住民により野中地区公民館として移転される。
昭和46年5月10日	新校舎へ移転する。
昭和46年7月1日	校舎並びにプールの竣工式を挙げる、その後祝賀会を開催する。
昭和46年10月21日	生徒が黒潮国体の炬火リレーに参加する。
昭和47年8月21日	大雨により、中庭バレーボールコート北側の土手が崩壊する。
昭和48年7月19日	本館が完成し、竣工式を挙げる。
昭和48年9月25日	運動場整地工事が完了する。
昭和49年1月21日	全学級授業参観の後、育友会臨時総会を開催し、頭髪・制服・自転車通学について協議する。
昭和50年7月16日	外出時服装は制服との規定があったが、生徒会が真剣な討議を経て規定解除の要望をする。学校はこれを認めて規定を解除する。
昭和52年3月4日	全国植樹祭記念として、メタセコイヤ・ウバメガシ・フサアカシアを校内に植樹する。
昭和52年11月9日	第26回全国へき地教育研究会の第10分科会が本校で開催される。教科・学級会活動の授業・生徒発表を公開する。（参加者292名）
昭和54年11月26日	松上栄吾校長が教育功労者文部大臣賞を受賞する。
昭和57年12月2日	1年生が和歌山大学附属養護学校との第1回交流学习を実施する。
昭和58年3月23日	学校統合に伴い閉校式を挙げる。35年にわたる神野中学校としての幕を閉じる。

神野中学校校歌

作詞 吉田 敏

作曲 打垣内 正

- 1 ひんがしの空 明けそめて 自由の鐘は なりひびく
あゝ人生の 朝明けに 民主の息吹き 野にみちて
知識の泉 汲みかわす 自治のが学園 われらが母校
- 2 神野の川の 水清く 流れて進む 時の代に
若きわれらが にないたる 使命は重し ともどもに
はげまし陸ぶ 若人が つどえる学園 われらが母校
- 3 丘のまどいに 三つとせを 真理を求め ひらすらに
高き理想に あこがるる 若き胸の血汐 火ともえて
希望に生くる 友と友 かぐわし学園 われらが母校



私たちの誓い（昭和42年）



創立20周年式典（昭和38年）



神野中学校

■ 歴代校長

敬称略

① 田尻 直嗣 (昭和23・24年度)	⑥ 橋本 常一 (昭和42・43年度)
② 吉田 敏 (昭和25～31年度)	⑦ 角谷 巖 (昭和44～49年度)
③ 橋本 常市 (昭和32～36年度)	⑧ 松上 栄吾 (昭和50～54年度)
④ 前田 忠雄 (昭和37年度)	⑨ 高岡 健三 (昭和55・56年度)
⑤ 西峯 茂夫 (昭和38～41年度)	⑩ 堀田 多務呂 (昭和57年度)

■ 歴代教頭

敬称略

① 大隈 末雄 (昭和23～25年度)	⑦ 口井輝一郎 (昭和39～42年度)
② } 不詳	⑧ 島崎 保雄 (昭和43・44年度)
③ } 不詳	⑨ 土井 弘仁 (昭和45～48年度)
④ } 不詳	⑩ 堀田多務呂 (昭和49～54年度)
⑤ } 不詳	⑪ 瀬藤 敏弘 (昭和55・56年度)
⑥ 寺山 勇作 (昭和35～38年度)	⑫ 柳瀬 昌弘 (昭和57年度)

■ 歴代育友会長

敬称略

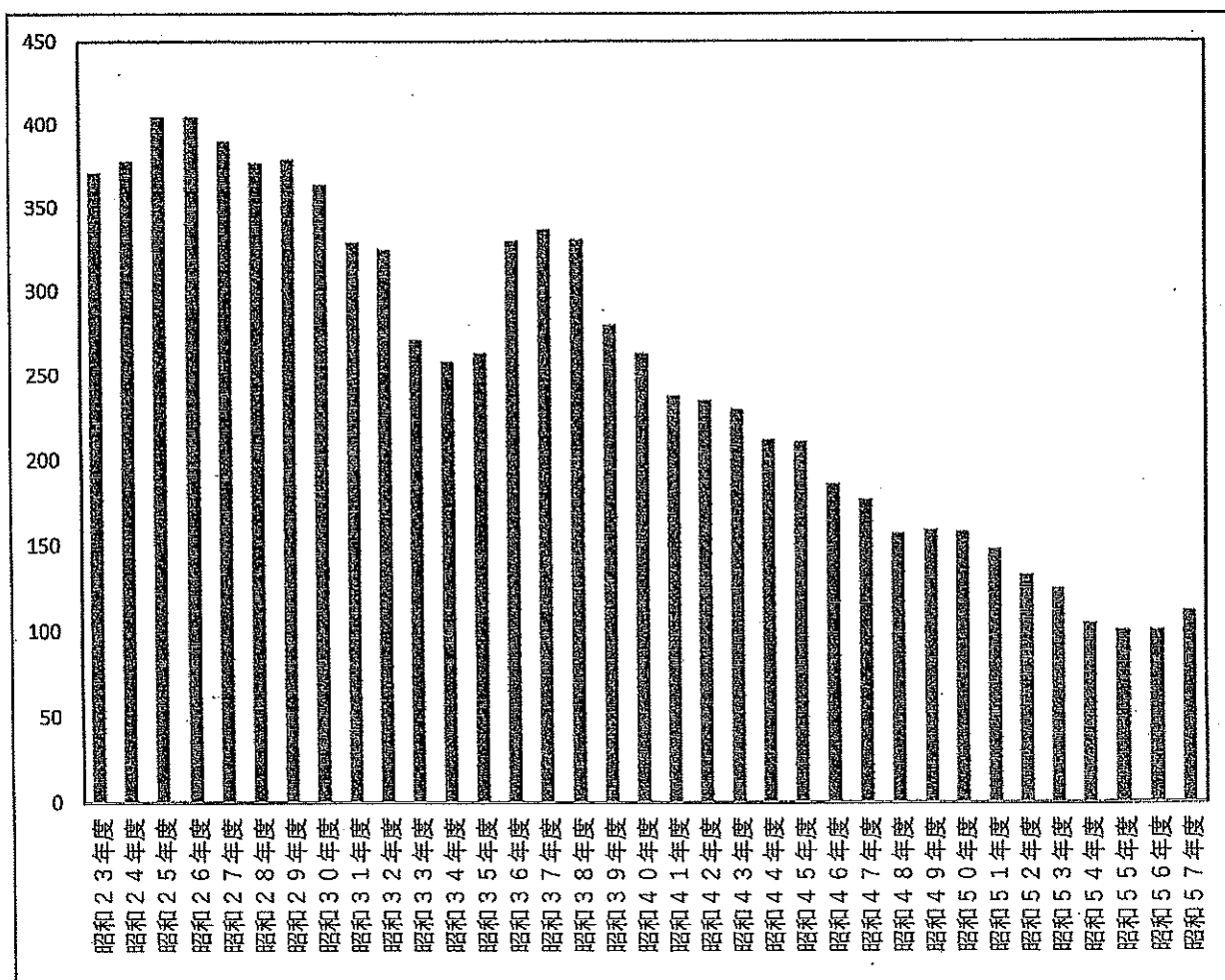
① 小壺 寛男 (昭和25年度)	⑭ 井岡 美秋 (昭和39年度)
② 尾谷 倉之介 (昭和26年度)	⑮ 河野 詮 (昭和40年度)
③ 松本 吾 (昭和27年度)	⑯ 岩本 重 (昭和41年度)
④ 面谷 和夫 (昭和28年度)	⑰ 中島 豊治 (昭和42・43年度)
⑤ 野手 修 (昭和29・30年度)	⑱ 岩本 重 (昭和44年度)
⑥ 今熊 豊 (昭和31年度)	⑲ 市口 定 (昭和45年度)
⑦ 田尻 直嗣 (昭和32年度)	⑳ 西岡 晋 (昭和46年度)
⑧ 前西 清一 (昭和33年度)	㉑ 沼田 康 (昭和47・48年度)
⑨ 堂上 実 (昭和34年度)	㉒ 沼田 幸雄 (昭和49・50年度)
⑩ 横山 敏夫 (昭和35年度)	㉓ 今出 皓宣 (昭和51・52年度)
⑪ 東池 静男 (昭和36年度)	㉔ 向井中 利治 (昭和53年度)
⑫ 井本 隆現 (昭和37年度)	㉕ 尾初瀬 恭生 (昭和54～57年度)
⑬ 古阪 豊 (昭和38年度)	

神野中学校生徒数の変遷

年度	生徒数
昭和23年度	371
昭和24年度	378
昭和25年度	405
昭和26年度	405
昭和27年度	390
昭和28年度	377
昭和29年度	379
昭和30年度	364
昭和31年度	329
昭和32年度	325
昭和33年度	271
昭和34年度	258

年度	生徒数
昭和35年度	263
昭和36年度	330
昭和37年度	337
昭和38年度	331
昭和39年度	280
昭和40年度	263
昭和41年度	238
昭和42年度	235
昭和43年度	230
昭和44年度	212
昭和45年度	211
昭和46年度	186

年度	生徒数
昭和47年度	177
昭和48年度	157
昭和49年度	159
昭和50年度	158
昭和51年度	148
昭和52年度	133
昭和53年度	125
昭和54年度	105
昭和55年度	101
昭和56年度	101
昭和57年度	112



不動中学校沿革（1949．4～1983．3）

昭和24年4月1日	志賀野村・真国村組合立中学校の設立は、幾多の曲折と波乱を経て、昭和24年4月1日、両村組合立不動中学校として歴史的な発足をした。
昭和24年4月7日	真国小学校校舎予定地にて始業式・入学式を挙げる。 (教職員9名、生徒182名) 発足したものの独立校舎なく、当分、真国小学校、志賀野小学校の校舎の一部を借用。志賀野村西方寺を借り受け本部とし、分散授業を実施。1年生は、両村にて別々の学級を編成、2・3年生は合併して一学級とし、一週間交替で両校舎へ交錯通学する。
昭和24年6月18-28日	生徒・教職員の校地整地作業の実施。
昭和24年10月10日	分散授業の困難さと弊害を思い、落成を待たずに新校舎へ移転する。
昭和24年10月31日	校舎新築記念秋季運動会を開催する。
昭和24年12月19日	校舎落成祝賀式を挙げる。
昭和25年3月17日	第1回卒業式を挙げる。
昭和26年3月19-20日	3年生60名が京都・大阪方面に1泊2日の第1回修学旅行を実施する。
昭和27年2月18日	同窓会を結成する。
昭和28年1月1日	元旦を全校登校日として書初めの会を実施する。
昭和28年7月18日	大水害のため臨時休業とする。
昭和30年4月1日	志賀野村は野上町に合併し、野上町・真国村組合立不動中学校と改称する。
昭和30年6月1日	真国村は美里町に合併し、野上町・美里町組合立不動中学校と改称する。
昭和31年7月3日	屋内体操場（講堂）落成祝賀式を挙げる。綴帳は育友会寄付で取り付ける。
昭和33年4月8日	志賀野地区生徒が野上中学校へ転出する。
昭和35年4月28日	美里町立不動中学校に校名改称する。
昭和37年10月31日	真国小学校と合同運動会を開催する。
昭和38年4月13日	2年間建設工事を進めてきた校舎の落成式を挙げる。その後餅投げを行う。
昭和38年8月1-2日	初めての試みで校内合宿を実施（星の観察・クラブ発表・炊さんなどを行う）。
昭和40年6月2日	美里町発足10周年記念行事として、全校生徒が旗行列を行う。
昭和40年9月10日	台風23号による多大な被害を受けたため臨時休業とする。
昭和41年2月4日	2年生31名が立志式を実施する。
昭和44年5月2日	生牛乳給食が開始される。
昭和45年4月22日	大阪市で開催された万国博覧会を全校生徒で見学する。
昭和46年10月24日	第26回国民体育大会（黒潮国体）開会式を生徒全員で見学する。
昭和47年12月21日	臨時の育友会総会を開催し、頭髪の自由化と自転車のヘルメット着用を決定する。
昭和50年11月2日	運動場防球ネットの設置が完了を機に、町職員、地域、生徒チームで、真国地区ソフトボール大会を実施し、生徒チームが優勝を飾る。
昭和52年3月4日	全国植樹祭記念樹（ウバメガシ、メタセコイヤ、フサアカシア）が配布され校内に植樹す
昭和52年7月11日	体育館竣工式を挙げる。その後祝賀会を行う。
昭和57年2月13日	町内中学校意見発表会が神野中学校で開催され、全校生徒が参加する。
昭和57年5月19日	町教育委員会主催の学校統廃合説明会を実施する。真国小学校・不動中学校育友会長、校長、教頭、保育所保護者代表、主任教諭、育友会評議員が出席する。
昭和57年7月2日	校舎北側のフェンスの下にサザンカを記念植樹する。
昭和57年11月30日	町民会館において、神野中学校と合同の意見交換会が町行政主催で開催される。
昭和58年1月28日	育友会臨時総会を開催し、学校統合について協議する。
昭和58年1月31日	町議会において、神野中学校との統合が決定される。
昭和58年2月10日	育友会臨時総会を開催し、学校統合によって生じる諸問題について協議する。
昭和58年3月24日	修了式を終え、町主催の閉校式を挙げる。

昭和58年3月31日	本日をもって34年間の歴史を閉じる。卒業生総数1045名。4月より美里中学校へ生徒はバス通学となる。
------------	--

不動中学校校歌 作詞 作曲

- 1 胸を張れ 手を伸ばせ 青空のかなた 希望の雲が浮んでいる
しゅろの若芽の 健やかに 伸びゆくわれら 手をつなぎ 光求めん
われら不動 われら不動



不動中学校

■ 歴代校長

敬称略

① 森本 喜代一 (昭和24・25年度)	⑥ 角谷 巖 (昭和41～43年度)
② 田原 隆顕 (昭和26年度)	⑦ 古畑 常義 (昭和43～49年度)
③ 原 明籌 (昭和27～30年度)	⑧ 青木 豊 (昭和50～54年度)
④ 横山 潔 (昭和31～36年度)	⑨ 西古家 武 (昭和55～56年度)
⑤ 橋本 常市 (昭和37～40年度)	⑩ 瀬藤 敏宏 (昭和57年度)

■ 歴任教頭

敬称略

① 重谷 貞夫 (昭和24～25年度)	⑥ 山田 弘之 (昭和44～50年度)
② 稲田 良作 (昭和27・28年度)	⑦ 岩倉 崇 (昭和51年度)
③ 《不詳》	⑧ 谷垣内和夫 (昭和52～54年度)
④ 《不詳》	⑨ 沢 忠夫 (昭和55～57年度)
⑤ 小林 勉 (昭和42・43年度)	

■ 歴代育友会長

敬称略

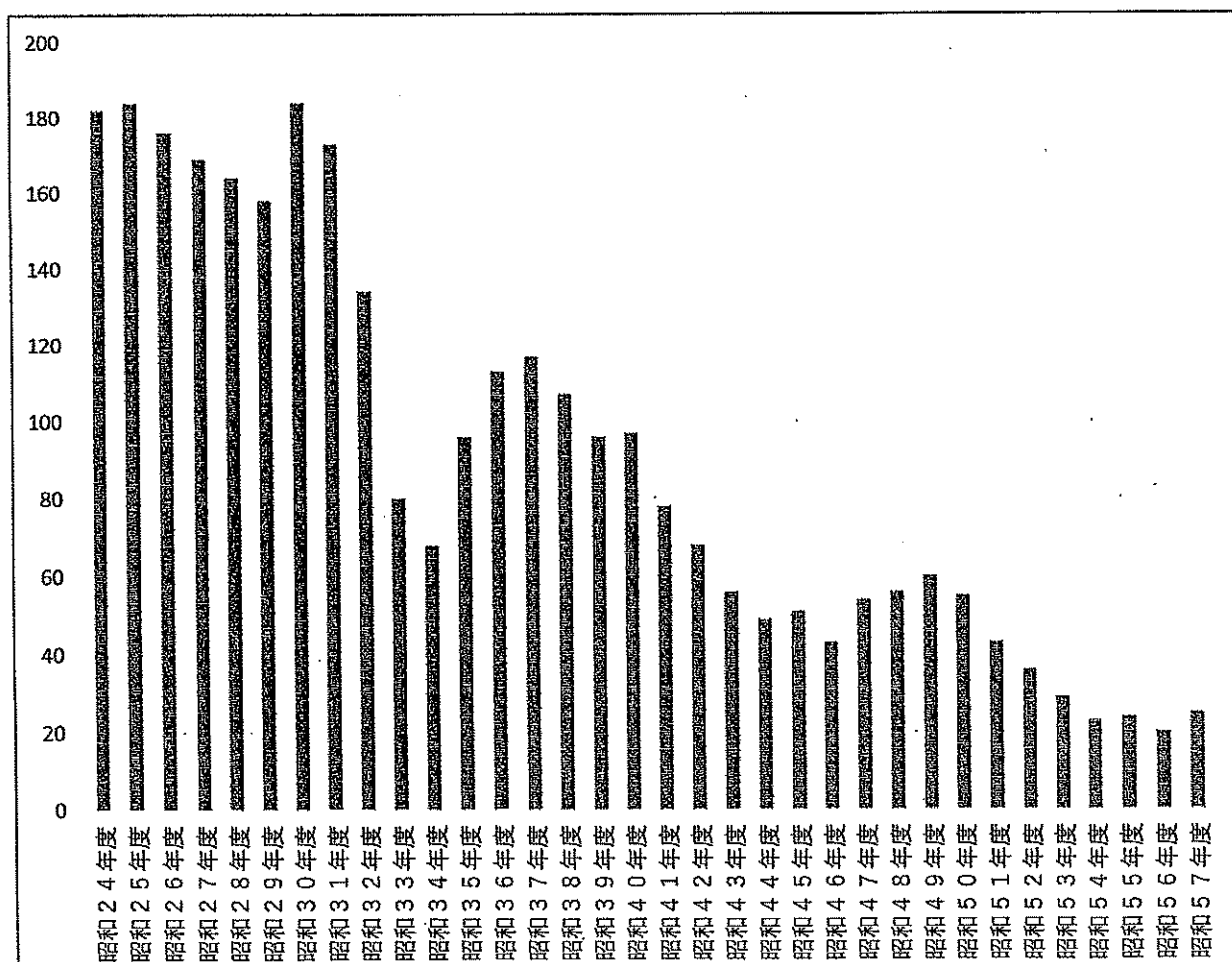
① 瀧本 義廣 (昭和24年度)	⑫ 宇田 益夫 (昭和41・42年度)
② 高岡 好永 (昭和25年度)	⑬ 大西 義光 (昭和43年度)
③ 中絵図 健一 (昭和26年度)	⑭ 前坊 福雄 (昭和45年度)
④ 前 國長 (昭和27～29年度)	⑮ 前 圭作 (昭和46・47年度)
⑤ 七良碯 由隆 (昭和30年度)	⑯ 新谷 登 (昭和48年度)
⑥ 北口 章 (昭和31年度)	⑰ 西浦 博夫 (昭和49～53年度)
⑦ 藪本 英一郎 (昭和32年度)	⑱ 部屋浦 忠明 (昭和54年度)
⑧ 中谷 亀石 (昭和33～36年度)	⑲ 北口 和幸 (昭和55年度)
⑨ 狭間 賢 (昭和37・38年度)	⑳ 寺岡 司郎 (昭和56年度)
⑩ 三浦 千秋 (昭和39年度)	㉑ 阪 明雄 (昭和57年度)
⑪ 新谷 登 (昭和40年度)	

不動中学校生徒数の変遷

年度	生徒数
昭和24年度	182
昭和25年度	184
昭和26年度	176
昭和27年度	169
昭和28年度	164
昭和29年度	158
昭和30年度	184
昭和31年度	173
昭和32年度	134
昭和33年度	80
昭和34年度	68
昭和35年度	96

年度	生徒数
昭和36年度	113
昭和37年度	117
昭和38年度	107
昭和39年度	96
昭和40年度	97
昭和41年度	78
昭和42年度	68
昭和43年度	56
昭和44年度	49
昭和45年度	51
昭和46年度	43
昭和47年度	54

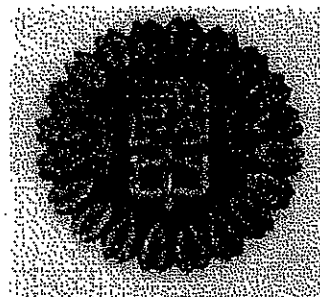
年度	生徒数
昭和48年度	56
昭和49年度	60
昭和50年度	55
昭和51年度	43
昭和52年度	36
昭和53年度	29
昭和54年度	23
昭和55年度	24
昭和56年度	20
昭和57年度	25



猿川中学校・国吉中学校沿革（1947. 5～1985. 3）

昭和22年5月3日	学制改革により猿川村にも新制中学校発足準備に掛かり、小学校の校舎を借用し、猿川新制中学校の開校式を挙げる。 (那賀郡猿川村大字田北原6番地 生徒数117名)
昭和23年1月23日	校章を制定する。
昭和24年2月22日	新築校舎落成
昭和24年10月25日	猿川村青年団のために夜間学校を開く。
昭和26年11月1日	那賀郡猿川村から海草郡国吉村に改称のため、海草郡国吉村立国吉中学校に校名を変更する。
昭和27年3月5日	運動場工事のため、放課後1時間、各学年別で交互に奉仕作業を行う。
昭和28年7月18日	大水害により、今西・松ヶ峯・中地区の県道流失。在校生1名死亡、家屋被害生徒53名。
昭和28年7月21日	陸の孤島化となり、飛行機から食糧投下、翌日はヘリコプターで運搬された食料が配分された。
昭和28年9月26日	台風13号の被害により、橋及び通学路の流失、山崩れのため臨時休業とする。
昭和28年10月2日	生徒全員で道路復旧作業を行う。
昭和30年5月10日	新校舎に移転する
昭和30年6月1日	長谷毛原村・国吉村・上神野村・下神野村の合併により美里町が発足する。校名を美里町立国吉中学校に改称する。
昭和30年9月30日	田中薫氏・前峠宗助氏の寄贈による校門が完成する。
昭和31年2月29日	東平利治氏、及び美里町の寄付によりピアノを購入する。国吉小学校学芸発表会と併せてピアノ開きを挙げる。
昭和32年5月18日	野球部スパイク購入のために、午後1時より全校生徒で薪運び作業を行う。
昭和32年6月22日	創立10周年行事として同窓会を組織する。名称「国吉中学校同窓会」会長 本多慎一氏
昭和32年12月21日	創立10周年記念式典を開催。 (校歌制定、校旗作成、生徒像・少女像建造、国旗掲揚台の建設、学校林の創設)
昭和35年6月1日	制服制度規定を実施する。(9月1日までを準備期間とする)
昭和36年12月8日	県指定実験学校研究会(最終)を開催する。 主題「特別活動における進路指導」
昭和37年1月26日	第1回校内マラソン大会を実施する。(男子3km、女子2km)
昭和39年1月22日	町及び地区内各位の努力により教育用テレビ1台を設置する。
昭和42年11月5日	運動場スタンド完成
昭和45年6月4-5日	万国博覧会を全校生徒で見学し、京都市で宿泊する。
昭和51年5月12日	体育館竣工式・祝賀会を開催する。
昭和55年7月7日	本年度より町内4中学校合同キャンプを学年別で実施する。 (1年生；紀北青年の家、2年生；産湯海岸、3年生；美里町森林公園)
昭和56年12月29日	運動場の5カ所に投光器が完備される。
昭和57年4月26日	5月10日を開校記念日とする。
昭和59年1月13日	美里中学校への統合問題について、国吉支所において保護者総会を開催する。町の統合計画の説明後に質疑応答があり、保護者会としては、昭和60年4月からの統合に賛成の決議を行う。
昭和59年1月7日	親生会総会を開催し、統合問題について協議する。意見交換の後、親生会として賛同することとなる。
昭和60年3月23日	修了式を終え、町主催の開校式を挙げる。その後、統合記念懇親会を開催する。
昭和60年3月31日	本日をもって38年間の歴史の幕を閉じる。美里中学校との統合となり、4月より生徒はバス通学となる。

- 1 棕櫚ときわ木の みどり濃く 若き力の たぎりあり
ここに立てり わが国吉中
貴志川清く せせらぎて 長峯いまに 雲蒼し
- 2 櫻の花の におわしく 清き姿を 仰ぎつつ
ここに立てり わが国吉中
きずなの古き たちきりて 住みよき郷土 ひらくため
- 3 ああ悠久の 大自然 山のいのちの いさぎよき
ここに立てり わが国吉中
文化のもとい 築いては 世界の道を 歩むため



■ 歴代校長

敬称略

① 今熊 豊 (昭和22～25年度)	⑦ 塩崎 茂 (昭和44～48年度)
② 尾絵 幸治 (昭和26～31年度)	⑧ 宗 健 (昭和49～52年度)
③ 阪口 正雄 (昭和32～34年度)	⑨ 山畑 義正 (昭和53・54年度)
④ 西峯 茂雄 (昭和35～37年度)	⑩ 堀田 多務呂 (昭和55・56年度)
⑤ 藪根 重治 (昭和38～40年度)	⑪ 木下 馨 (昭和57～59年度)
⑥ 稲田 良作 (昭和41～43年度)	

■ 歴任教頭

敬称略

① 東尾 光次朗 (昭和22～25年度)	⑥ 山畑 義正 (昭和47年度)
② 松上 栄吾 (昭和26～35年度)	⑦ 松尾 好司 (昭和48～55年度)
③ 土井 弘仁 (昭和36～39年度)	⑧ 坂口 伊令 (昭和56年度)
④ 中元 富功 (昭和40年度)	⑨ 西 時男 (昭和57年度)
⑤ 木下 馨 (昭和41～46年度)	⑩ 東浦 啓祐 (昭和59年度)

■ 歴代親生会長

敬称略

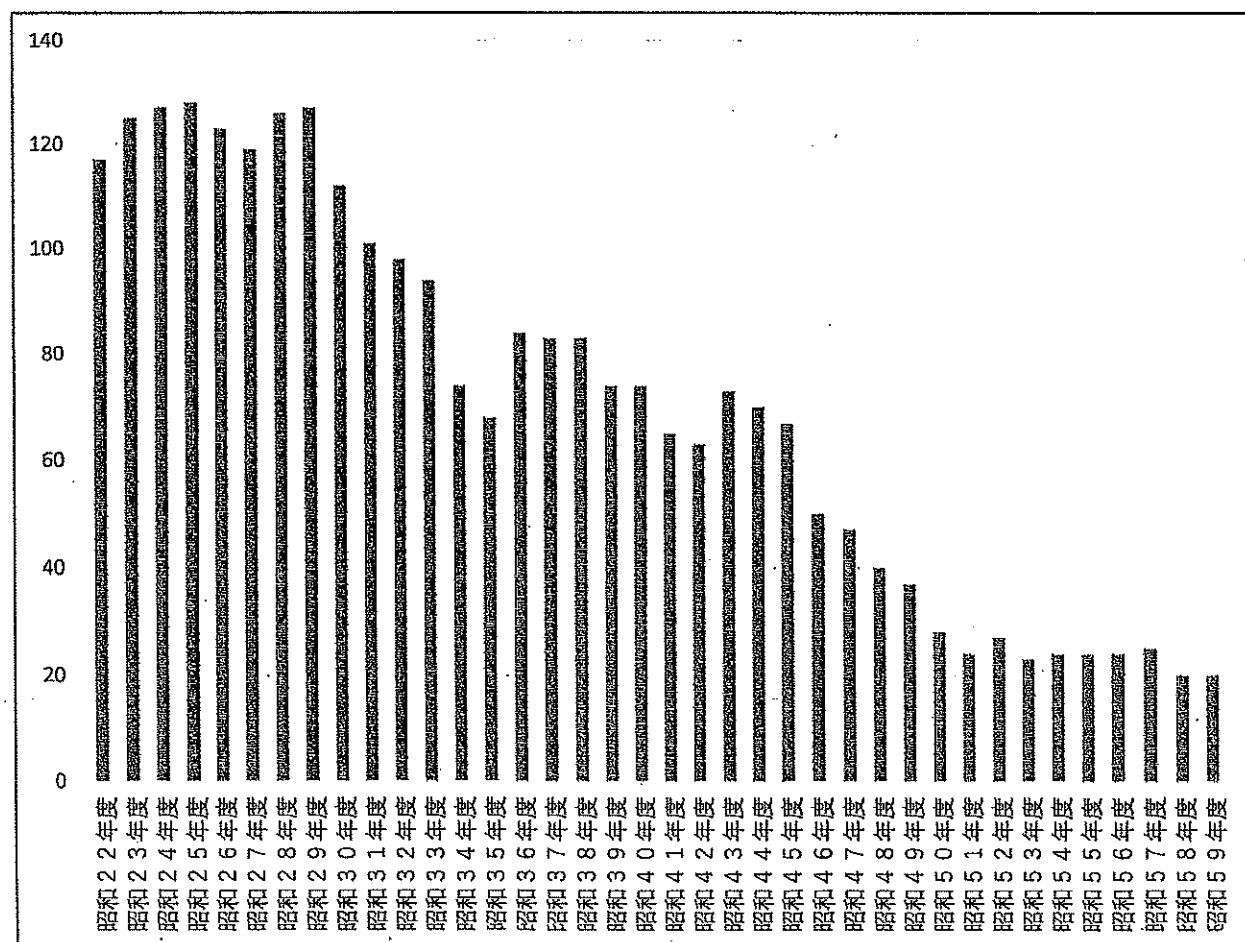
① 向林 久太郎 (昭和22～30年度)	⑨ 中 智 (昭和49年度)
② 戸塚 敬男 (昭和31年度)	⑩ 上辻 良一 (昭和50年度)
③ 阪口 勉 (昭和32・33年度)	⑪ 上西 康雄 (昭和51年度)
④ 橋戸 三郎 (昭和34・35年度)	⑫ 東岡 秀悟 (昭和52～54年度)
⑤ 岩見 清 (昭和36～41年度)	⑬ 東垣 定次 (昭和55～56年度)
⑥ 尾西 巧 (昭和42～44年度)	⑭ 新野 一郎 (昭和57年度)
⑦ 塚田 政成 (昭和45～47年度)	⑮ 榎本 孝幸 (昭和58年度)
⑧ 尾上 邦延 (昭和48年度)	⑯ 東垣 定次 (昭和59年度)

猿川中学校・国吉中学校生徒数の変遷

年度	生徒数
昭和22年度	117
昭和23年度	125
昭和24年度	127
昭和25年度	128
昭和26年度	123
昭和27年度	119
昭和28年度	126
昭和29年度	127
昭和30年度	112
昭和31年度	101
昭和32年度	98
昭和33年度	94
昭和34年度	74

年度	生徒数
昭和35年度	68
昭和36年度	84
昭和37年度	83
昭和38年度	83
昭和39年度	74
昭和40年度	74
昭和41年度	65
昭和42年度	63
昭和43年度	73
昭和44年度	70
昭和45年度	67
昭和46年度	50
昭和47年度	47

年度	生徒数
昭和48年度	40
昭和49年度	37
昭和50年度	28
昭和51年度	24
昭和52年度	27
昭和53年度	23
昭和54年度	24
昭和55年度	24
昭和56年度	24
昭和57年度	25
昭和58年度	20
昭和59年度	20



長谷毛原中学校沿革（1947. 5～2017. 3）

昭和22年5月3日	新制中学校の設置について、学制改革準備委員会で協議を重ね、暫定措置として、毛原宮分教場校舎を新制中学校校舎として使用することとした。また、長谷区内の1・2年生の校舎は、長谷小学校内に併置することとした。 新憲法実施の記念日を期して、午後1時より村民多数参集して開校式を盛大に催す。また、引き続いて祝賀会を行う。 生徒数 156名 4月1日付けで職員補職発令される。 初代 大越徳次 校長 他7名 P T A発足、総会開催
昭和24年9月30日	校章・バッヂの制定（完成）
昭和24年11月26日	5校（猿川小学校・猿川中学校・毛原小学校・長谷小学校・長谷毛原中学校）連合体育会を本校で開催する。
昭和26年5月19日	新校舎上棟式
昭和26年7月20日	中学校中学生会結成
昭和26年10月6日	新校舎完成
昭和26年11月15日	地方有志寄贈材料をもとに国旗掲揚台新設
昭和26年11月19日	午前に新校舎落成祝賀会挙行。午後に余興及び餅投げ等の行事を行う。
昭和26年12月15日	町内有志による用材等の寄付援助により、校庭周囲のバックネットが完成する。
昭和28年7月18日	大水害により全村域が被害を受け、7月30日からの夏季休業に接続する期間を臨時休業とする。校舎を避難所として開放する。（33世帯・11名）
昭和28年11月27日	水害による食糧事情悪化のため、ユニセフよりミルクの贈与を受け補助給食を開始する。
昭和29年6月30日	豪雨による橋流失、県道数カ所崩壊のため臨時休業（7日間）
昭和30年6月1日	長谷毛原村・国吉村・上神野村・下神野村が合併して美里町が発足。美里町立長谷毛原中学校となる。
昭和30年9月5日	細野村立細野中学校の勝谷地区生徒20名が転入する。
昭和31年1月30日	校歌完成（久世正富 作詞、片山頼太郎 作曲）
昭和31年2月6日	長谷毛原地区出身者9名と地元商工会からの寄付によりピアノを購入する。
昭和31年9月7日	相撲部の新設（地区有志の後援で校舎西側に土俵を設置）
昭和32年5月18日	野球部スパイク購入のために、午後1時より全校生徒で新運び作業を行う。
昭和32年11月3日	創立10周年記念及び図書館竣工祝賀会を開催し、引き続き相撲及び投餅を行う。
昭和34年4月16日	へき地集会室が竣工し、落成祝賀式を挙行する。
昭和35年2月20日	中学生会支援の下に、歯ブラシ販売運動を実施し、教育用テレビを購入設置する。
昭和36年6月9日	特別教室（理科室・工作室）増築竣工
昭和37年9月24日	「自主」「積極」「辛抱強く」の校訓を制定する。
昭和43年2月5日	第1回尚志式を挙行、2年生が自己雄抱負を発表し、それを激励祝福する。
昭和43年2月10日	創立30周年を記念誌で卒業者名簿を発刊して配布する。
昭和45年11月20日	第21回和歌山県へき地教育研究協議会を本校を会場として開催する。（参加85名） 主題「生徒の思考を高める（創造性を高める）ための指導はどうすればよいか」
昭和46年10月20日	第26回国民体育大会（黒潮国体）炬火リレーに参加（代表25名）。
昭和48年8月1・2日	大阪府四条畷中学校2年生がキャンプのため来校し、本校バレー部と親善試合を行う。
昭和50年11月10日	文部省指定生活指導研究発表会を開催する。（参加120名）
昭和55年7月12・13日	新校舎落成に伴い、中学生員が植樹する。 新校舎落成祝賀会を開催する。（参加約300名）
昭和55年9月2日	9月2日を開校記念日とする。
昭和57年9月26日	第1回4校（大成高等学校美里分校・毛原小学校・毛原保育園・本校）合同運動会を開催する。

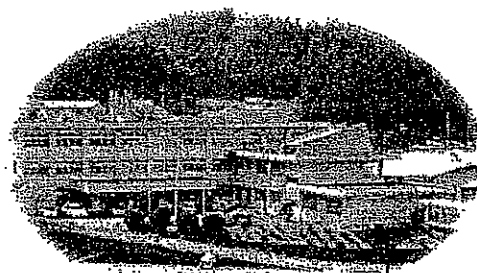
昭和58年11月8日	県へき地教育研究発表会を本校で開催 テーマ「たくましく豊かに生きようとする個と集団の育成」（参加約100名）
昭和59年11月5日	県・町指定勤労体験学習実践校研究発表会を本校で開催する。（参加約100名）
平成1年1月8日	昭和天皇崩御により元号が平成となる。
平成3年11月12日	文科省指定・海草地方指定道徳教育研究会、兼海草地方へき地教育研究会実践発表会を開催。（参加約120名）
平成5年6月9日	皇太子徳仁親王御成婚により休日となる。
平成10年11月27日	県音楽教育研究大会で、生徒全員で太鼓演奏を披露する。
平成11年4月17日	のぞみ会の指導により毛原小学校児童と合同であまご釣り大会を実施する。
平成13年11月16日	県へき地教育研究大会が本校を会場として開催され、提案発表を行う。
平成15年11月14日	校舎から体育館への渡り廊下が完成する。
平成17年4月8日	学校給食が開始される。
平成18年1月1日	野上町・美里町が合併して紀美野町が発足する。校名を紀美野町立長谷毛原中学校と改称する。（生徒数の減少により学級数が2となる）
平成20年11月25日	文部科学省指定道徳教育実践研究「人間としての在り方生き方を考える教育」発表会を開催する。（参加約70名）
平成23年3月15日	毛原保育所・毛原小学校・長谷毛原中学校の保護者及び教職員、学校評議員、各区長が集まり、地域の保育所・学校の今後の運営について協議する。
平成23年4月1日	新入生がいないため、1学級規模となる。
平成24年2月27日	中生会の補助により、運動場周辺にサクラを植樹する。
平成24年4月1日	毛原小学校を本校に移転し、小中学校として教育活動を開始する。学校長は毛原小学校長が兼務する。
平成29年3月24日	町教育委員会主催で、毛原小学校・長谷毛原中学校の休校式を挙げる。
平成29年3月31日	本校70年間の歴史を閉じ休校となる。4月1日からは美里中学校へ統合となる。

長谷毛原中学校校歌

作詞 久世正富

作曲 片山頼太郎

- 1 青き山なみ 谷間の緑 日はかがやかに 美しこの里
しゅろの葉かげに 平和をたたえ むつび楽しく 学べるわれら
長谷毛原 長谷毛原中学 栄えあれ
- 2 貴志の川上 流れも清く さばしる鮎の 希望に燃えて
若さががやき みなぎる力 明日の文化の いしづえ築く
長谷毛原 長谷毛原中学 栄えあれ



長谷毛原中学校

■ 歴代校長

敬称略

① 大越 徳次 (昭和22～25年度)	⑫ 東浦 啓祐 (平成元～3年度)
② 今熊 豊 (昭和26～28年度)	⑬ 永尾 泰和 (平成4年度)
③ 大隈 末雄 (昭和29・30年度)	⑭ 井澤 慶三 (平成5～7年度)
④ 楠嶺 守 (昭和30～36年度)	⑮ 橋本 由平 (平成8～12年度)
⑤ 東尾光次郎 (昭和37～41年度)	⑯ 妻木 康彰 (平成13～15年度)
⑥ 高岡 健三 (昭和42～47年度)	⑰ 福山 功 (平成16～20年度)
⑦ 口井輝一郎 (昭和48～50年度)	⑱ 大西 孝亮 (平成21～23年度)
⑧ 下店日出男 (昭和51～54年度)	⑲ 松尾 詩朗 (平成24年度)
⑨ 土井 弘仁 (昭和55～58年度)	⑳ 亀井 晴史 (平成25年度)
⑩ 松尾 好司 (昭和59・60年度)	㉑ 上田 国裕 (平成26年度)
㉒ 今西 功 (昭和61～63年度)	㉒ 中家 覚 (平成27・28年度)

■ 歴代教頭

敬称略

① 畑 倭文男 (昭和22年度)	⑭ 東浦 啓祐 (昭和60～62年度)
② 中谷 太郎 (昭和23年度)	⑮ 永尾 泰和 (昭和63～平成3年度)
③ 上中 敏照 (昭和24・25年度)	⑯ 神崎 博介 (平成4～6年度)
④ 上中 利知 (昭和25年度)	⑰ 小西 利計 (平成7～9年度)
⑤ 弓庭 輝清 (昭和26～28年度)	⑱ 宇恵幸次郎 (平成10～14年度)
⑥ 上村 正治 (昭和29～32年度)	⑲ 中谷 泰和 (平成16～17年度)
⑦ 磯野 学 (昭和32・33年度)	※ 不在 (平成18年度)
⑧ 中前 頼夫 (昭和34・35年度)	⑳ 地村 知三 (平成19～21年度)
⑨ 下店日出男 (昭和36～39年度)	※ 不在 (平成22・23年度)
⑩ 土井 弘仁 (昭和40～44年度)	㉑ 中谷 泰和 (平成24～26年度)
⑪ 下店日出男 (昭和45～50年度)	㉒ 浦 貴子 (平成27年度)
⑫ 中幡 正巳 (昭和51～55年度)	㉓ 堀畑 秀行 (平成28年度)
⑬ 小川 佳麿 (昭和56～59年度)	

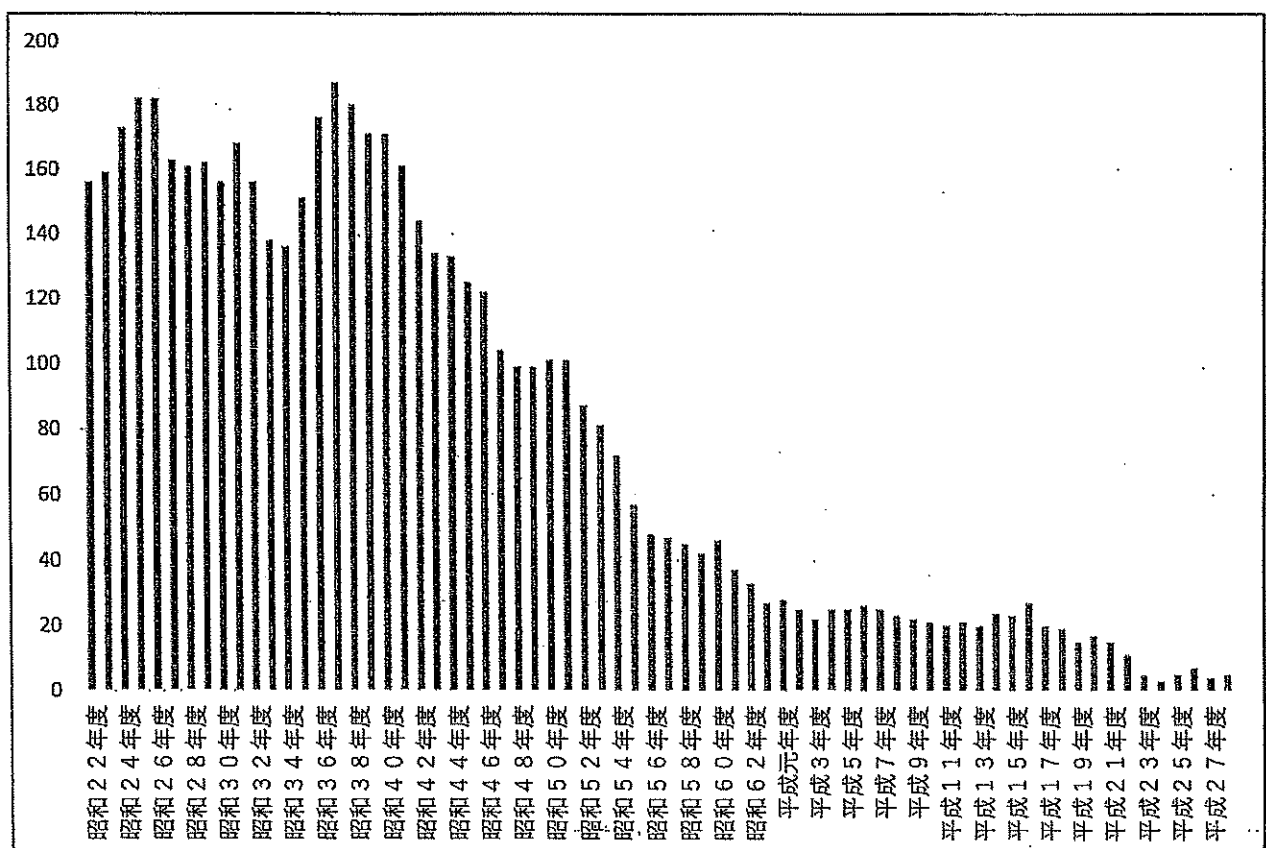
■ 歴代育友会長

敬称略

① 久保 英治 (昭和27～32年度)	⑳ 新谷 達夫 (平成9年度)
② 上中 隆嗣 (昭和33年度)	㉑ 西 茂 (平成10年度)
③ 東芝 博治 (昭和34～37年度)	㉒ 吉田 立夫 (平成11年度)
④ 田下 準三 (昭和38・39年度)	㉓ 東 文男 (平成12年度)
⑤ 前岡 完治 (昭和40・41年度)	㉔ 西 茂 (平成13年度)
⑥ 森下 繁義 (昭和42年度)	㉕ 村木一博 (平成14年度)
⑦ 新谷 栄治 (昭和43～51年度)	㉖ 上保 修義 (平成15年度)
⑧ 上中 忠雄 (昭和52～56年度)	㉗ 南 昭和 (平成16年度)
⑨ 前上 晋作 (昭和57・58年度)	㉘ 中谷 康弘 (平成17年度)
⑩ 橋本 博 (昭和59・60年度)	㉙ 西畔 克博 (平成18年度)
⑪ 古谷 英和 (昭和61年度)	㉚ 中谷 博昭 (平成19年度)
⑫ 炭家 英明 (昭和62・63年度)	㉛ 山路 肇 (平成20・21年度)
⑬ 正殿 順亮 (平成元年度)	㉜ 向井中義夫 (平成22年度)
⑭ 平野 義隆 (平成2年度)	㉝ 平井 二嗣 (平成23年度)
⑮ 東浦 精次 (平成3年度)	㉞ 西澤 知之 (平成24年度)
⑯ 豊田 満夫 (平成4年度)	㉟ 弓庭 昌治 (平成25年度)
⑰ 井岡 政嗣 (平成5・6年度)	㊱ 佐野 智美 (平成26年度)
⑱ 土井 正臣 (平成7年度)	㊲ 弓庭 昌治 (平成27年度)
	㊳ 田村 歩 (平成28年度)

長谷毛原中学校生徒数の推移

年度	生徒数	年度	生徒数	年度	生徒数	年度	生徒数
昭和22年度	156	昭和40年度	171	昭和57年度	47	平成11年度	20
昭和23年度	159	昭和41年度	161	昭和58年度	45	平成12年度	21
昭和24年度	173	昭和42年度	144	昭和59年度	42	平成13年度	20
昭和25年度	182	昭和43年度	134	昭和60年度	46	平成14年度	24
昭和26年度	182	昭和44年度	133	昭和61年度	37	平成15年度	23
昭和27年度	163	昭和45年度	125	昭和62年度	33	平成16年度	27
昭和28年度	161	昭和46年度	122	昭和63年度	27	平成17年度	20
昭和29年度	162	昭和47年度	104	平成元年度	28	平成18年度	19
昭和30年度	156	昭和48年度	99	平成2年度	25	平成19年度	15
昭和31年度	168	昭和49年度	99	平成3年度	22	平成20年度	17
昭和32年度	156	昭和50年度	101	平成4年度	25	平成21年度	15
昭和33年度	138	昭和51年度	101	平成5年度	25	平成22年度	11
昭和34年度	136	昭和52年度	87	平成6年度	26	平成23年度	5
昭和35年度	151	昭和53年度	81	平成7年度	25	平成24年度	3
昭和36年度	176	昭和54年度	72	平成8年度	23	平成25年度	5
昭和37年度	187	昭和55年度	57	平成9年度	22	平成26年度	7
昭和38年度	180	昭和56年度	48	平成10年度	21	平成27年度	4
昭和39年度	171					平成28年度	5



第4部会:PTA 組織等について

令和5年

10月10日 両中学校と規約等の内容協議

12月21日 第4部会開催

- ・紀美野町立紀美野中学校育友会規約(案)について
- ・紀美野町立紀美野中学校育友会規約細則(案)について
- ・紀美野町立紀美野中学校育友会慶弔規程(案)について

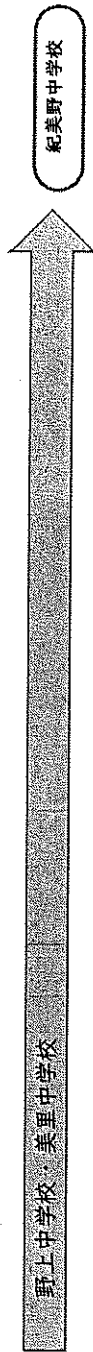
令和6年に協議が必用な事項

- ・PTA 主な行事及び活動(案)について
- ・PTA 予算(案)について
- ・PTA 会計持ち寄り金(案)について
- ・合同臨時育友会総会の日程について
- ・その他(追加事項あれば協議する)

(2) 今後のスケジュールについて

紀美野中学校開校のスケジュール (案)

令和6年2月



	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度
	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	6年生	1年生	2年生	3年生
小学校児童										
中学校生徒										

項目	校討主体	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度
		10月	1月	3月	4月	7月	10月	1月	3月	4月	
全体会		開 催	開 催	開 催	開 催	開 催	開 催	開 催	開 催	開 催	
条例案	議会・教育委員会	9月 教育委員会付議・議会上程			美里中学校校舎活用検討			令和7年度 学校運営協議会設置案			学校運営協議会 (新組織)
校名 学校運営協議 会	小中学校長 運営協議会 教育委員会	《決定》 紀美野町立紀美野中学校			運営協議会組織検討			設置			
校歌	《部会1》 寫村 (曲里 小西)	歌詞の一部募集 (募集範囲) (回収方法) HPへ掲載 作詞:津田氏再依頼 作詞作曲編曲予算			作曲;依頼者選 定・決定			歌詞決定 作曲決定 編曲			校歌完成 書家へ依頼 (掲示用) 生徒による歌唱練習 吹奏楽用編曲依頼
校章 校旗	松本、山下 中学校長	デザイン制 作者に依 頼			デザイン制 作者に依 頼			校旗(2種)選考 予算			校旗完成
校訓 校色		校訓案・校色案 (中学校長・教委) 米準備委員会承 認・決定			校訓決定			書家へ依頼			設置
教育計画	中学校長・教頭 教職員・生徒会	令和7年度原案検討 (教育目標・行事・日課調整)			令和7年度案作成 (教育目標・行事・日課等試行・修正)			4月 教育計画決定			
校則		2中学校校討会議			《部会2》の進行→追加検討			校則試行 入学説明 会			4月 校則決定 内規:継続的に修 正

制服 体操服 バッグ 上靴 体育館シューズ 他	《部会2》 小坂 (小西 西岡 浦) 山下、小椋 松尾、田中 林、八木、芝滝 清水、中西 中学校長・教頭・教員	PTA委員選出 意向調査作成 (小・中保護者) 回収方法検討 HPへ掲載	調査結果を基に 原案作成 準備委員会に報告 ①制服 (新デザイン) ②体操服 ③バッグ ④上靴 ⑤体育館シューズ 児童生徒保護者 意向調査	販売業者 と調整 (在庫対 応等) サンプル 選定 名札 自転車ヘルメット 自転車ステッカー 検討・決定 予算	制服等の 部会案を 2,3種に 絞る	児童生徒・ 保護者ア ンケート	制服、体操 服、バッグ 、通学用 靴、上靴、 他 決定	決定 発注 (最終)	学生証	入学説明 会	在校生への対応 (教委)
指定校変更 通学支援バス	教育委員会 学校	令和5年度の運行計画作成 利用者把握 ＊運行予算	令和6年度の運行計画作成 利用者把握 ＊運行予算						令和7年度運行体制検討		新経路で運用
スクールバス											
通学路の安全 対策	教育委員会 (青少年センター)	教育委員会・学校・PTA 警察・町建設課・県へ要望	通学安全見守り体制・組織化の検討	通学安全見守り体制・組織化の検討					通学安全見守り体制・組織化の準備		
閉校式典 記念誌 記念品展示	《部会3》 中屋 中家 (曲里 浦) 松本、山下 若林、横山健、西原 清水、中西 中学校長・教頭 《部会4》 松尾 (西田 西岡) 林、八木、芝滝 清水、中西 小中学校長・教頭	記念誌の発刊・構成検討 (原稿依頼者の検討) 式典の開催日決定 内容検討 原案を準備委員会へ提案 開催日の決定	式典内容・記念誌資料の収集、構成 記念品・展示場所 検討 式典・記念誌・記念品 内容を準備委員会へ 提案・決定 予算 式典の詳細を検討 式典内容を準備委員 会へ提案・決定 予算 交流計画・交流事業実 施 交流計画・交流事業実施 PTA会費の繰越し用途検討 PTA会費の繰越し決定 PTA会費の繰越し金の支出決定 授業見学・交流学習参観日を設定 学年別交流実施 次年度交流計画 改修 改修計画の立案 玄関プレート・学校印 等備品 予算確保 部活動に関する検討 部活動ユニフォーム (学校名変更・一新) 生徒会組織調整 中学校合同会議	案内(中学校) 記念誌印刷業者発注 記念品展示場所決定 案内(教委)	式典準備 (生徒役 割)	開校式			記念品展示		
開校式典											
小学校 PTA											
中学校 PTA											
学校見学会											
交流活動											
校舎等 改修検討											
部活動											
生徒会											

(3) その他

